



2022 年度  
学校教育における  
即興型英語ディベートの推進加速事業  
報告書

助成：公益財団法人 日本財団

2023 年 4 月

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）



## 1. 学校教育における体験会の実施・調査

### 【即興型英語ディベート体験会】

	実施日	参加校	新規	参加教員	参加生徒
1	4月16日	大成中学・高等学校	※		6
2	4月21日	岡山学芸館清秀中学	※	3	38
3	4月22日	星城中学校	※	1	25
4	4月27日	姫路市立琴丘高校	※	3	39
5	4月27日	静岡県立静岡高校			8
6	4月28日	立命館高校	※	1	36
7	4月30日	清風南海中学校・高等学校	※	1	3
8	5月6日	三重県立四日市高校		3	26
9	5月7日	徳島県立徳島北高校	※		10
10	5月10日	一ツ葉高校立川キャンパス	※	4	11
11	5月13日	岐阜県立岐阜高校		2	9
12	5月22日	愛知県立岡崎高校		1	16
13	5月24日	東京都立田柄高校	※	1	6
14	5月27日	静岡県立浜松北高校		4	24
15	6月2日	栃木県立栃木高校	※		13
16	6月9日	神奈川県立横須賀大津高校	※	1	80
17	6月9日	上宮学園中学校	※	3	40
18	6月10日	白梅学園清修中高一貫部	※	1	7
19	6月14日	白鵬女子高校	※	2	16
20	6月15日	長崎南山高校	※	3	21
21	6月17日	不二聖心女子学院高校	※	2	35
22	6月22日	東京都立忍岡高校	※	3	8
23	6月23日	静岡理工科大学星陵高校 体験会	※	1	7
24	7月12日	奈良県立奈良高校		2	17
25	7月12日	大阪府立北野高校		5	12
26	7月14日	東京都立千早高校	※	1	27
27	7月15日	愛知県立天白高校	※	2	12
28	7月15日	滋賀県立彦根東高校		2	11
29	7月20日	仙台青陵中等教育学校	※	3	12

30	7月22日	滋賀県立膳所高校		1	9
31	7月28日	鹿児島育英館高等学校	※	2	27
32	8月3日	京都市立堀川高校		1	12
33	8月4日	ノートルダム清心中高等学校	※	3	24
34	8月17日	兵庫県立神戸高校		4	13
35	8月24日	茨城県立勝田中等教育学校	※	4	7
36	9月8日	福島県立安積高校		2	37
37	9月17日	神奈川高校生（横浜翠嵐高校・横浜 緑ヶ丘高校・相模原高校）		6	24
38	9月30日	東京都立日比谷高校		2	33
39	10月1日	神奈川高校生（横浜平沼高校・川和 高校・多摩高校・茅ヶ崎北陵高校）		6	22
40	10月8日	神奈川高校生（横浜国際高校・湘南 高校・大和高校）		5	21
41	10月10日	神奈川高校生（横須賀高校・希望ヶ 丘高校・光陵高校・厚木高校）		7	25
42	10月16日	神奈川高校生（小田原高校・平塚江 南高校・柏陽高校）		7	21
43	10月24日	千葉県立千葉高校		2	7
44	10月25日	都立西高校		1	8
45	10月28日	埼玉県立浦和高等学校		1	10
46	11月5日	市立船橋高校		1	6
47	11月10日	兵庫県立三田祥雲館高校	※	2	9
48	11月11日	越谷南高校	※	2	40
49	11月11日	埼玉県立浦和第一女子高等学校		2	10
50	12月15日	山口県立華陵高校	※	2	8
51	2月4日	昭和学院秀英高校	※	2	39
52	3月2日	貝塚市立第五中学校	※	4	41
53	3月4日	筑波大学附属中学校	※		3
54	3月9日	京都橘中学校	※	2	8
55	3月11日	岡山大安寺中等教育学校	※		
<b>合計</b>				<b>126</b>	<b>1,039</b>

### 参加者の声（アンケート抜粋）

- ・凄く緊張したが、終わったあとの達成感がすごく楽しかった。緊張したけれどたくさんの気づきがあって凄く勉強になった。（大成中学・高等学校/生徒/新規参加校）
- ・英語会話の核心に触れられた気がして、とても楽しかった。ディベート後に丁寧なアドバイスがあり、改善すべき点を把握できました。授業でもぜひ行いたいです。（星城中学校/生徒/新規参加校）
- ・15分という短い時間で文章を組み立てたり、単語を捻り出したりしたら難しかったけど、英語で表現するのは楽しかった。（清風南海中学校・高等学校/生徒/新規参加校）
- ・英語で自分たちの主張と理由、具体例や説明などを即興で表現するのは難しかったです。グループで力を合わせて取り組むことができ良かったです。また、お題について自分が考えたことの他にもいろいろな考え方があったことも分かり、視野が広がりました。（都立西高校/生徒）
- ・自分が英語で即興で考え、喋れると初めて知りました。こんな機会を作ってくれてありがとうございました。（貝塚市立第五中学校/生徒/新規参加校）

### 【即興型英語ディベート交流大会】

開催日	イベント名	参加校	参加校数	参加教員	参加生徒
6月11日	東海交流大会	愛知県立岡崎高等学校、岐阜県立岐阜高等学校、静岡県立静岡高等学校、静岡県立浜松北高校、三重県立四日市高等学校	5	12	30
7月23日	青森交流大会	青森県立青森高校、青森明の星高校、八戸聖ウルスラ学院高校、青森県立青森南高校、青森県立八戸高校	5	9	31
8月27日	関西交流大会	奈良県立奈良高等学校・滋賀県立彦根東高等学校・兵庫県立神戸高等学校・大阪府立北野高等学校・京都市立堀川高等学校・滋賀県立膳所高等学校	6	12	41
9月23日	北海道交流会	北海道釧路湖陵高校・北海道札幌南高校	2	6	13

10月16日	中四国交流会	徳島市立高等学校、城ノ内高等学校、相模原高等学校	3	3	14
11月3日	京都交流大会	京都府立鳥羽高等学校、京都市立塔南高等学校、京都市立西京高等学校、京都市立日吉ヶ丘高等学校、京都府立福知山高等学校、京都府立嵯峨野高等学校	6	13	26
11月5日	神奈川交流大会	横浜平沼、横浜国際、横浜翠嵐、横浜緑ヶ丘、光陵、大和、川和、柏陽、多摩、横須賀、鎌倉、湘南、小田原、茅ヶ崎北陵、相模原、厚木、希望ヶ丘、平塚江南	18	54	105
11月13日	東北交流大会	秋田県立角館高等学校、秋田県立本荘高等学校、山形県立山形東高等学校、福島県立安積高等学校、青森県立青森高等学校、岡山県立岡山朝日高等学校	6	3	14
11月20日	首都圏交流大会	東京都立日比谷高等学校、東京都立西高等学校、東京都立三田高等学校、神奈川県立湘南高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、千葉県立千葉高等学校、千葉県立船橋高等学校、埼玉県立浦和第一女子高等学校、埼玉県立浦和高等学校	9	14	50
11月13日	岩手交流大会	岩手県立盛岡第一高等学校、岩手県立一関第一高等学校、岩手県立黒沢尻北高等学校	3	4	28

12月17日	中高一貫交流大会	千代田区立九段中等教育学校、東京都立桜修館中等教育学校、東京都立小石川中等教育学校、東京都立三鷹中等教育学校、東京都立立川国際中等教育学校、東京都立南多摩中等教育学校、東京都立武蔵高等学校附属中学校、東京都立大泉高等学校附属中学校、東京都立富士高等学校附属中学校、東京都立白鷗高等学校附属中学校、東京都立両国高校附属中学校	11	15	77
<b>合計</b>			<b>74</b>	<b>145</b>	<b>429</b>

#### 参加者の声（アンケート抜粋）

- ・チームのメンバーや他校の生徒と協力し、素晴らしい経験ができた。（静岡高校/生徒/東海交流大会）
  - ・東海のような学校とディベートできて沢山の刺激を受けることができ参加して良かった。（岡崎高校/生徒/東海交流大会）
  - ・生徒が英語ディベートに果敢に挑戦する姿、対戦後に互いの健闘を讃えあう姿、そして、生徒の潜在能力の高さと成長に感動しました。（教員/東海交流大会）
  - ・自分達の論を客観的に見ることは大事だと分かった。（膳所高校/生徒/関西交流大会）
  - ・初めての体験で、色々な人と英語を用いて交流出来て良かったです。（奈良高校/生徒/関西交流大会）
  - ・ディベートを通して普段関わることのない人と関わることができ、英語の力が伸びたと感じる。また、今の社会状況などについての見解を深める機会にもなった。（神戸高校/生徒/関西交流大会）
  - ・生徒たちが英語を駆使しながら、自分の伝えたいことを伝えようとし、相手の言いたいことを理解しようとする姿に感動致しました。（教員/関西交流大会）
  - ・色々な学校の人の実力を間近で見れたので楽しかったです。（鎌倉高校/生徒/神奈川交流大会）
- 他の高校の人とディベートができて、いい機会になった。もっと自分の能力を高めたい。（大和高校/生徒/神奈川交流大会）
- ・ディベートを通じて、自分の意見を整理し、相手に伝えることの難しさと楽しさを知ることができました。（光陵高校/生徒/神奈川交流大会）

・現役高校生でこんなにも深いディベートができるのかと感動したとともに、ジャッジの仕方についても勉強ができてとてもよかったです。(教員/神奈川交流大会)

・生徒同士のコミュニケーションやドキドキ感を見て、対面開催の良さを感じました。短い時間の中で生徒が大きく成長したと思います。ディベートの楽しさを、学校での練習よりも感じたようです。このような場を設けて頂き、ありがとうございました。(教員/神奈川交流大会)

・すごく色々な高校の人とディベートができて楽しかったです。また、皆さんの英語力を目の当たりにしてとても刺激を受けました。多くのことを学べたので機会があれば参加したいです。(日比谷高校/生徒/首都圏交流大会)

・同じ首都圏の公立高校だけれど、自分とは全然レベルが違う人がたくさんいて凄いと思った。とても良い刺激になった。(県立船橋高校/生徒/首都圏交流大会)

・楽しく交流ができ、生き生きとした生徒の姿を見ることができました。(教員/首都圏交流大会)

・みんなの英語力が高く、議論を戦わせるのが面白かった。(桜修館中学校/生徒/中高一貫交流大会)

・思いがけず活躍ができてうれしかったです。いろんな講評を聞くことができ、より自分のディベート力が高まったように思います。(小石川中学校/生徒/中高一貫交流大会)

・ディベートの準備、練習を介した生徒たち成長(英語力だけでなく)、またディベートの効果を感じることができてとても良かったです。(教員/中高一貫交流大会)

## 【教員研修】

実施日	実施団体		参加教員数
6月24日	神奈川県教育委員会	神奈川4技能 第1回	34
6月25日	岩手県盛岡中央高校	盛岡中央高校 教員研修	5
8月2日	神奈川県教育委員会	神奈川4技能 第2回	30
8月2日	広島県英語部会	広島県 英語科教員研修	26
8月3日	神奈川県教育委員会	神奈川4技能 第3回	30
8月5-6日	PDA	夏合宿	72
8月19日	京都大学大学院医学研究科	京都大学 教員研修	6
11月21日	熊本県教員研修	熊本教員研修 1日目	12
11月22日	熊本県教員研修	熊本教員研修 2日目	12
2月22日	新潟県教育委員会	新潟県教員研修	54
3月18日	PDA	教員ワークショップ	5

### 参加者の声（アンケート抜粋）

- ・ディベートを初めて行いました。自身の課題が見つかった共に、授業での取り組み方も詳しく教えてもらったため非常に有意義な時間となりました。学んだことを授業で実践します。（神奈川県4技能教員研修）
- ・初めて本研修会に参加しましたが、ディベートに実際に取り組んでみて、授業改善とともに自分自身の英語力向上が必須だと強く感じたので、とても参加できてよかったです。（神奈川県4技能教員研修）
- ・非常に有意義な研修でした。実際に自分自身もディベートを経験せねば、絶対に指導できないと思います。ジャッジが自身にとってまだまだ課題ではあるので、これから勉強したいと思います。（神奈川県4技能教員研修）
- ・非常に興味深いワークショップでした。日本人の多くはディベートの型自体に馴染みがないので、学生さんに導入するととても良いように思いました。（京都大学 教員研修）
- ・段階的にパラメンタリーディベートについて教えていただいたことで、スムーズに内容を理解できた。最後の試験では熱い議論を交わすことができ、とても有意義な時間だった。（熊本県教員研修）
- ・体験したことのない内容だった。実践してみて感じたことが多く、授業実践への形をつくる研修となった。（新潟県教員研修）
- ・実際にやってみたことで、ディベートの授業の進め方、50分の使い方をイメージできた難しいポイント、つまづきポイントも分かったことで、生徒への指導ポイントも少し分かったと思う。（新潟県教員研修）
- ・授業での実践方法を学ぶことができたので。初めは、ディベートはハードルが高いと思っていたが、パターンさえ覚えれば、思考力や英語力を深める良い活動だと実感しました。（新潟県教員研修）

### 【キーノートディベート】

参加者がディベート実践をしたあとに、論題に関わるテーマで専門家にレクチャー（日本語10分+QA5分）していただく。対象：教員、社会人

開催日	第1回
	4月29日
講師	乾 健太郎
講師所属	東北大学大学院情報科学研究科教授
テーマ	ディベートは、人間よりもAIに指導されるほうがよい
	Debates are better judged by AI than by humans.

開催日	第2回
	5月29日
講師	石川 竜一郎先生
講師所属	早稲田大学国際学術院教授
テーマ	裁判をするのは陪審員よりもAIが良い
	Courts should be judged by AI rather than a jury.
開催日	第3回
	6月18日
講師	樋笠 堯士 先生
講師所属	多摩大学経営情報学部専任講師
テーマ	車の中にいる者の人命を最優先に行動するような自動運転車は許されるべきである。
	Self-driving cars should be allowed to act in such a way that the people in the car is a top priority.
開催日	第4回
	7月17日
講師	樋笠 知恵 先生
講師所属	信州大学医学部公正研究推進講座助教
テーマ	積極的安楽死を合法化すべきである。
	Active euthanasia should be legalized.
開催日	第5回
	8月28日
講師	馬場 雪乃 先生
講師所属	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻准教授
テーマ	採用の過程で、人間による面接を禁止し、AIが採用を決めるべきである。
	In the hiring process, human interviews should be prohibited and decisions should be made by AI.
開催日	第6回
	9月11日
講師	井上 裕子 氏
講師所属	Yaala 株式会社 代表取締役社長
テーマ	男性の長期育休（半年以上）はキャリアアップにおいてメリットである。
	Long-term maternity leave (six months or more) for men is an advantage in career advancement.
開催日	第7回

	10月30日
講師	早川 有紀先生
講師所属	関西学院大学法学部 准教授
テーマ	日本は原子力発電所の利用を促進するべきである。 Japan should promote the use of nuclear power plants.
開催日	第8回 11月27日
講師	中條 壮大先生
講師所属	大阪公立大学大学院工学研究科 准教授
テーマ	低炭素型社会の実現のために、安定した電力が得られる原子力発電よりも、不安定な電力だが大規模にも小規模にも導入できる太陽光発電を導入すべきだ。 To realize a low-carbon society, Japan should adopt solar power, which is unstable but can be deployed on both a large and small system, rather than nuclear power, which provides stable power.
開催日	第9回 12月25日
講師	大柴 行人氏
講師所属	Robust Intelligence 共同創業者
テーマ	生徒は、教員よりもAIにディベートを指導されたほうがよい。 Students should be instructed in debate by AI rather than by teachers.
講師	岩船 由美子先生
講師所属	東京大学生産技術研究所 特任教授
テーマ	カーボンニュートラル実現のために、消費者の行動（所有、利用）は制限されるべきである。 Consumer behavior (ownership and use of things) should be limited to achieve carbon neutrality.
講師	伊東 大輔氏
講師所属	株式会社アドダイス 代表取締役 CEO
テーマ	大企業での就職よりも、起業を目指すべきである。 Entrepreneurship should be pursued rather than employment at a big company.
開催日	第10回 1月29日
講師	森田 崇雄 先生
講師所属	関西大学 政策創造学部 准教授

テーマ	各企業に対して温室効果ガスの排出削減を義務付けるべきである。
	Each company should be required to reduce greenhouse gas emissions.
開催日	第 11 回
	2 月 26 日
講師	掛林 美智先生
講師所属	財務省大臣官房付 長期在外研究員 (UC パークレー)
テーマ	高福祉・高負担の社会よりも、低福祉・低負担の社会を目指すべきである。
	We should aim for a low-welfare, low-burden society rather than a high-welfare, high-burden society.
開催日	第 12 回
	3 月 19 日
講師	吉村 奈津江先生
講師所属	東京工業大学 科学技術創成研究院 准教授
テーマ	脳内に電極を埋め込むことで考えるだけで対話ができるようになるブレイン・マシン・インタフェース (BMI) は、害よりも利益をもたらす。
	Brain Machine Interface (BMI), which allows people to interact just by thinking by implanting electrodes in the brain, will do more good than harm.

### 参加者の声 (アンケート抜粋)

- ・キーノートレクチャーに関連したトピックをディベートすることで、よりレクチャーへの理解が深まり、とても良いと思いました。また、ディベートも他の方のスピーチを聞くことで、勉強になります。また、次回も参加したいです。
- ・全く未知の分野の論題で戸惑いましたが、キーノートレクチャーで解説して頂き理解できました。とてもためになりました。有難うございました。
- ・毎回学びが本当に多く、素晴らしい企画だと感じています！ありがとうございました！

## 2. 全国合宿、全国大会（高校、中学）、世界交流大会の実施

開催日	イベント名	種別	参加校数	参加教員	参加生徒
8月5-6日	全国中学校・高校即興型英語ディベート合宿・大会 2022	中学校	16	10	99
		高校	55	64	316
12月24-25日	第8回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会	高校	79	84	237
1月20-21日	第8回 PDA 高校生パラメンタリーディベート 世界交流大会 PDAWC2023	日本高校	6	24	72
3月19日	第6回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会	中学校	33	37	115
合計			189	219	839

報告書を最終部に別添

### 3. パーラメンタリーディベート検定の精緻化・実施

#### 【パーラメンタリーディベート検定実施】

実施日	参加者	実施人数
8月6日	全国中学校・高校即興型英語ディベート合宿・大会 2022 参加者の内希望者	22
1月26日	福岡県立城南高校	300
2月15日	雲雀丘高校	30
	合計	352

#### 【PD 検定システム開発】

##### ・申し込み画面



The image shows a screenshot of a web application for the PD exam application. The interface is dark blue with white text and input fields. At the top, it says 'PDA' and 'PD検定@ブレtest'. Below that, there are several input fields: '応募検定名:' (Application Exam Name), '受験希望日:' (Application Date) with the value '2022/12/08', '名前(漢字):' (Name in Kanji), 'Name(English):', '生年月日:' (Date of Birth) with the value '2000/06/01', '郵便番号(7桁):' (Postal Code), '住所:' (Address), '電話:' (Phone Number), 'メールアドレス:' (Email Address), and '写真:' (Photo) with a 'ファイルの選択' (Select File) button.

・受験者一覧が見れる画面

PDA PDA Certification 記事一覧

新規追加 一括追加 編集 削除 支払い保存 募集一覧に戻る

検索	募集番号	受験番号	写真	名前	name	申込状況	学名	誕生日	試験日
<input type="radio"/>	202023	20200171		神宮 花子	Hanako Jima	完了	バーラメンタリーディベート人財養成協会	2022-05-01	2022-11-09
<input checked="" type="radio"/>	202023	20200172		田中 花子	Hanako Tano	完了	バーラメンタリーディベート人財養成協会	1988-02-20	2022-11-09
<input type="radio"/>	202023	20200173		山田 花子	Hanako Yamada	完了	バーラメンタリーディベート人財養成協会	2002-04-01	2022-11-09

・採点の画面

PDA PDA Certification - 採点

保存 戻る

1:Recreating the dead in VR does more benefits than Recreating the dead in VR does more benefits than harm.

内容の評価

	0-2	3-5	6	7-10
主張の理由	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
具体例	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
関連性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
役割・戦略性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

表現の評価

	0-2	3-5	6	7-10
態度・話す姿勢	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アイコンタクト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
明瞭性	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
タイムマネジメント	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

内容  点 表現  点

良かった点(150-200字)

内容:  挿入

表現:  挿入

(0文字,1行)

改善点(150-200字)

内容:  挿入

表現:  挿入

・成績表（サンプル）

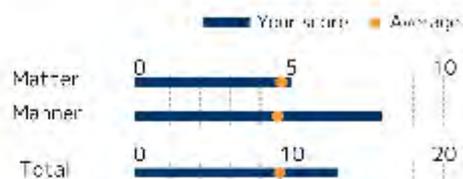


パラメンタリーディベート検定®  
Parliamentary Debate Test of Logic and Expression

**OFFICIAL SCORE CERTIFICATE**

School ●●●高学校  
Name ●●●●●  
Examinee ID 00000245  
Test ID 000026-001-001  
Test Date 2023-01-26  
Date of birth -



Legend: ■ Your score, ■ Average

Category	Your score	Average
Matter	5	10
Manner	8	10
Total	13	20

<b>PD LEVEL</b>	<b>PD4</b>
<b>TOTAL SCORE</b>	<b>13/20</b>

<b>Motion</b>	Japanese should stop eating meat.		
<b>Role</b>	Prime Minister		
<b>Matter</b>	5/10	<b>Manner</b>	8/10
<b>Reasoning</b>	A	<b>Attitude</b>	S
<b>Example</b>	B	<b>Eye Contact and Gestures</b>	A
<b>Relevancy</b>	A	<b>Clarity</b>	A
<b>Role and Strategy</b>	A	<b>Time Management</b>	S

Comments	
<b>Good points</b>	<p>魚を摂取すると健康被害が出るという点について、「プランクトンを小さい魚が食べ、それを大きい魚が食べ、それを人間が食べることで起きる」という理由はよかったです。現状の問題がいかにして起きるかを具体的に説明することができていました。POIを通して議論を深めようとする姿勢がとても素晴らしいかったです。また、時間いっぱいスピーチをしており、タイムマネジメントも素晴らしいかったです。</p>
<b>Improvement points</b>	<p>「健康被害が起きる」「魚を食べることをやめれば状況が良くなる」といった主張に対してもう少し具体例を詳しく述べられるとよいでしょう。「健康被害」と言っても程度は様々です。どの程度深刻なのか、最悪の場合どうなるかなどについて描写するとさらによりです。スピーチの重要箇所での声の大きさやスピードを変えるなど観客を工夫するとより効果的です。</p>

## ・ PD検定団体受験

### PD 検定<sup>®</sup>（団体受験）結果まとめ

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

試験日：2023年1月26日

学校名：福岡県立城南高等学校

学年：2年生

受験者数：300名（2人で1役されている場合、1人とカウントされます）

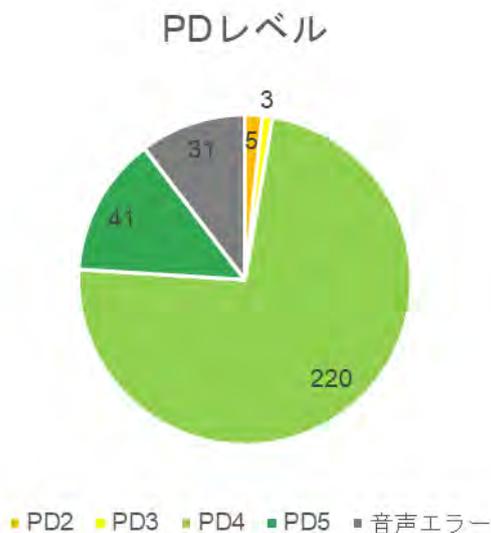
#### 1. PD レベル

約73%がPD4（CEFR: A2-B1）であった。

約14%がPD5（CEFR: A1）であった。

約10%が録音された音声小さく、エラー評価となった。

約3%がPD2, PD3（CEFR: B1-C2）であった。



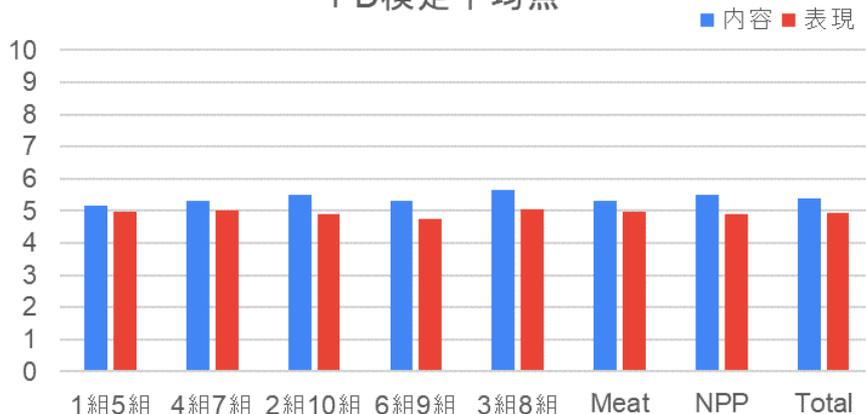
CEFR (言語運用能力)	PD5	PD4	PD3	PD2	PD1
C2				Orange	Red
C1			Yellow	Orange	Red
B2			Yellow	Orange	
B1		Green	Yellow		
A2		Green			
A1	Green				

PD Level (論理的表現力)

#### 2. 内容、表現点

クラスごと、および論題ごとの内容、表現点をそれぞれ示す。クラスごとの平均点にやや差はあるものの、統計的有意差は確認されなかった。2つの論題についても統計的有意差は確認されなかった。

PD検定平均点



3. 今後に向けてのアドバイス

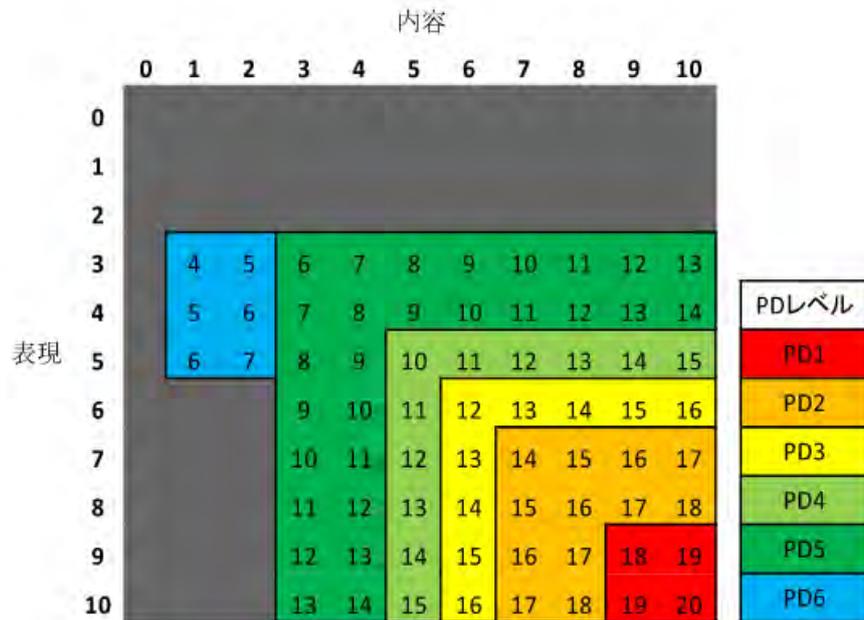
次のステップとして、PD レベル：PD3（内容 6 点、表現 6 点）を目指すことが期

PD レベル	スコア 範囲	スコア	論理的表現能力	内容	表現
PD1	18-20	内容・表現のいずれも 9 点以上	他者の意見を先回りして予測し、自らの意見との差異を明確にし、非常に説得的に説明できる。	ものごとの争点を高度に意識し、理由および具体例を含めて効果的な論理で説明できる。状況に応じた効果的な振る舞いを行い、確実に議論を強化できる。	（正しい姿勢で敬意を持ち、アイコンタクト、声の大きさやスピードの調整を行ったうえで）聞き手を説得できるように高度に工夫した表現で伝えることができる。
PD2	14-18	内容・表現のいずれも 7 点以上	他者の意見を十分に理解し、自らの意見を説得的に説明できる。	ものごとの争点を意識し、理由および具体例を含めて効果的な論理で説明できる。状況に応じた効果的な振る舞いを行い、議論を強化できる。	（正しい姿勢で敬意を持ち、アイコンタクト、声の大きさやスピードの調整を行ったうえで）聞き手を説得できるように工夫した表現で伝えることができる。
PD3	12-16	内容・表現のいずれも 6 点以上	他者の意見を理解し、自らの意見を論理的に説明できる。	聞き手が想像できるよう理由および具体例を詳しく説明できる。議論すべき話題を理解し、的確な内容を述べることができる。状況に応じた振る舞いを行うことができる。	正しい姿勢で、敬意を持って表現することができる。アイコンタクトで聞き手を惹きつけることができる。声の大きさやスピードを適切に調整できる。
PD4	10-15	内容・表現のいずれも 5 点以上	他者の意見を意識し、自らの意見を論理を意識して説明できる。	理由や具体例を説明できる。議論すべき話題に沿った内容を述べることもできる。状況を意識して振る舞うことができる。	沈黙が目立つことなく話すことができる。アイコンタクトを意識できる。おおよそ聞き手に聞こえるような声の大きさで話せることができる。
PD5	6-14	内容・表現のいずれも 3 点以上	話題に関する簡単なことを説明できる。	理由や具体例または話題に沿った内容などの一部を説明できる。	沈黙とならない努力またはアイコンタクトや聞き手に聞こえるような声を出すことなどを部分的に行い、発話できる。
PD6	4-7	内容1点以上、表現3点以上	話題に関する初歩的なことを述べることができる。	話題についてなんらかの発言ができる。	沈黙とならない努力またはアイコンタクトや聞き手に聞こえるような声を出すことなどを部分的に行い、発話できる。

待される。そのために必要なことは、評価基準の6点の項目をすべて満たすことである。内容については特に「主張の理由」「具体例」それぞれ1段階やキーワード程度の説明ではなく聴衆が想像できる程度の描写をこころがけること、表現については特にスピーチの半分程度は「アイコンタクト」をし、聴衆に伝わる声の大きさ（「明瞭性」）とし、「タイムマネジメント」として規定時間以上を話すことを目標にするとよいでしょう。

参考に、内容と表現の評価項目（抜粋）を示す。A 評価すなわち6点相当（灰色背景）の項目（内容と表現各4つずつ）がすべて満たされることで、内容・表現それぞれ6点を取得できる。内容6点以上、表現6点以上がPD3である。

内容	3~5点	B	主張の理由	主張に対して1段階の理由づけがある。
			具体例	主張やその理由づけに対応する例をキーワード程度説明している。
			論題との関連性	主張と論題の関連性が認められる。
			スピーカーの役割・戦略性	各スピーカーに求められる立論・反論・再構築・比較などの役割を一部満たしている。
	6点	A	主張の理由	主張に対して聴衆が想像できる程度に理由の説明をしている。
			具体例	主張やその理由づけに対応する例・描写を、聴衆が想像できる程度に説明している。
			論題との関連性	主張が論題の肯定・否定に直接的につながっている。
			スピーカーの役割・戦略性	各スピーカーに求められる立論・反論・再構築・比較・サインポスト（ポイントのタイトル）の提示などの役割を満たしている。
表現	3~5点	B	態度・話す姿勢	スピーチ中の沈黙が半分以下である。
			アイコンタクト・ジェスチャー	下を向いていることが多いものの、意識的に聴衆を見ようとしている。
			明瞭性	聞こえないところが一部あるが、聴衆に伝わる声の大きさとなっている。
			タイムマネジメント	規定時間の半分以上（PM~MOは1:30以上、LOR~PMRは1:00以上）、スピーチしている。
	6点	A	態度・話す姿勢	沈黙がほとんど見られず、正しい姿勢（肘をつく・片足に重心をかけるなどが無い）で、相手や聴衆に対して敬意を持ってスピーチしている。かつ、POIを1回以上、受けている。（ただし、相手側からのPOIが1回以下の場合を除く。）
			アイコンタクト・ジェスチャー	挨拶やサインポストなどの重要箇所を含むスピーチの半分程度でアイコンタクトをし、聴衆を惹きつけている。
			明瞭性	スピーチ全体を通して、聴衆に伝わる声の大きさ・スピードに調整している。
			タイムマネジメント	規定の許容範囲時間以上（PM~MOは2:30以上、LOR~PMRは1:30以上）、スピーチしている。



#### 4. その他

各生徒への成績表について、今回、音声エラーになった場合も、システム上内容 2, 表現 2 点の点数がつけられ、成績表自体は印刷されている (PD レベルは PD6)。よって、成績表内の点数棒グラフ上の平均点にはこれらのエラーデータも含まれている。そのため、成績表内の平均点はエラーを除いた場合の平均点に比べ、若干低い値になっている。本報告書での平均点は、エラーデータはすべて除いて導出した平均点であり、より正確な値といえる。

**【認定ジャッジ】**

2021年度 試験	受験者数	合格者数	合格率
筆記	39	39	100%
ディベート実技	39	39	100%
ジャッジ実技	47	46	98%
2022年度 試験	受験者数	合格者数	合格率
筆記	21	21	100%
ディベート実技	20	18	90%
ジャッジ実技	23	19	83%



文部科学省後援 PDA 全国中学校・高校即興型英語ディベート合宿・大会 2022 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2022年8月5日(金)～6日(土)

(1日目) 中学生：3ラウンド、高校生：練習3ラウンド、予選1

(2日目) 高校生：予選2、予選3、キーノートレクチャー、レクリエーション、準決勝、決勝

会場：Zoomにてリモート開催

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

後援：文部科学省

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

協力：大阪公立大学



参加者数：中学生 99名 (16校・28チーム)、高校生 316名 (55校・97チーム)

#### 中学校

(東京都) 獨協中学校、品川女子学院中等部、白百合学園中学高等学校、東京都立大泉高等学校附属中学校、東洋英和女学院 (神奈川県) 湘南白百合学園中学校、洗足学園中学高等学校、栄光学園中学校、聖光学院 (愛知県) 愛知真和学院大成中学校、南山中学校女子部 (京都府) 京都市立大宅中学校 (兵庫県) 神戸大学附属中等教育学校 (岡山県) 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 (千葉県) 翔凜中学校 (徳島県) 徳島県立城ノ内中等教育学校

#### 高校

(岩手県) 岩手県立盛岡第一高等学校、岩手県立一関第一高等学校 (茨城県) 東洋大学附属牛久高等学校、清真学園 (栃木県) 宇都宮高等学校、栃木県立佐野高等学校、作新学院高等学校 (群馬県) 高崎市立高崎経済大学附属高等学校 (千葉県) 翔凜高等学校 (東京都) 品川女子学院高等部、獨協中学高等学校、山崎学園富士見高等学校、東京都立大泉高等学校、女子聖学院高等学校 (神奈川県) 慶應義塾高等学校、湘南白百合学園高等学校、神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校、神奈川県立相模原高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、白鵬女子高等学校、栄光学園高等学校、聖光学院 (富山県) 富山国際大学附属高等学校 (福井県) 福井県立藤島高等学校 (長野県) 長野県長野高等学校、長野県松本県ヶ丘高等学校、長野県屋代高等学校、伊那北高等学校 (岐阜県) 岐阜高等学校、岐阜聖徳学園高等学校 (静岡県) 静岡県立静岡高等学校 (愛知県) 東邦大学附属東邦高等学校、東海高等学校、南山高等学校女子部 (三重県) 三重県立四日市高等学校 (京都府) 京都府立嵯峨野高等学校 (大阪府) 大阪青凌高等学校、関西創価高等学校、関西大倉高等学校 (兵庫県) 神戸市立葺合高等学校、雲雀丘学園高等学校、報徳学園高等学校、神戸市立葺合高等学校、神戸大学附属中等教育学校、兵庫県立尼崎小田高校 (岡山県) 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 (広島県) ノートルダム清心中・高等学校 (徳島県) 徳島県立城ノ内中等教育学校 (福岡県) 福岡県立久留米高等学校、福岡県立城南高等学校、朝倉高等学校 (熊本県) 熊本県立人吉高等学校 (大分県) 大分豊府高校 (鹿児島県) 鹿児島中央高等学校、鹿児島県立鶴丸高等学校

(順不同)

開催趣旨：

〈中学生・高校生向けプログラム〉

本合宿・大会は、即興型英語ディベートの実践を中心としたプログラムで、集中的に「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」を鍛えます。大学生・大学院生、PDA 認定教育ジャッジによる手厚い指導も伴い、効果的に上記スキルを向上させます。また他校生徒との交流も深まります。初心者の方も歓迎です。合宿での集中実践の成果を効果的に発揮できるよう、後半には大会を設けています。

〈教員向けプログラム〉

本合宿・大会では、生徒のみならず、教員を対象としたプログラムを同時に進行させます。2022年度からの「論理・表現」をはじめ、授業に導入できる即興型英語ディベート実践を経験していただくプログラムとなっています。授業での導入を前提とするため、合宿では一つのセッションを50分としています。また、効果的なプログラムを共に開発するための意見交換会も設けています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）：

論題 1 : Ranking children in sport events at kindergartens and elementary schools should be abolished.

（園や学校の運動会での順位付を廃止すべきである。）

論題 2 : As pets, robot dogs are better than real dogs.

（ペットは、本物の犬より、ロボット犬の方がよい。）

論題 3 : We should abolish the death penalty.

（死刑制度を廃止すべきである。）

論題 4 : STEAM education should be prioritized over English education.

（英語よりも、STEAM を学ぶべきである。）

論題 5 : Footage of shooting incidents should not be reported.

（銃撃事件の映像は報道すべきでない。）

論題 6 : Public policies should be based on public opinion polls, rather than a few experts or bureaucrats.

（公共政策は、少数の専門家や官僚ではなく、世論調査に基づくべきである。）

論題 7 : NATO should deploy its troops to Ukraine.

（NATO はウクライナに派兵すべきである。）

論題 8 : Japan should promote the use of nuclear power plants.

（日本は原子力発電所の利用を促進するべきである。）

## 1日目

開会式では、まず今回の参加校が紹介されました。カメラとマイクのチェックも兼ねた学校名の点呼と挨拶をしました。その後、スタッフの紹介、合宿スケジュールの確認、ルール諸注意を行いました。ルールの確認では、POI (Point of Information: 質疑応答) のポーズの練習も行いました。今回は、中学生・中学校教員の部 (今年度から新設)、高校生の部 (授業の部、課外活動の部 初心者、課外活動の部 一般)、高校教員の部 (初心・一般、認定、受験) が同時進行で行われます。授業の部においては、学校の通常授業において即興型英語ディベートに取り組んでいる学校を対象とし、普段の授業への積極的な参加の成果を発揮する場、また合宿で学んだことを各校に持ち帰るシステムとなっております。



POI の練習

中学生ラウンド1・高校生練習ラウンド1の論題は「園や学校の運動会での順序付を廃止すべきである」でした。教員の部ではラウンドをジャッジする先生、生徒の様子を見学する先生、検定審査レクチャーを聴く先生に分かれました。生徒たちはそれぞれの経験を参考にどのような議論ができるかブレストシート (アイデア出しシート) にメモし、まとめていきました。ディベートが終了すると、他校の生徒と自己紹介をし、学校の様子などを語り合う姿が見られました。

中学生ラウンド2・高校生練習ラウンド2の論題は「ペットは、本物の犬より、ロボット犬のほうがよい」でした。コストパフォーマンスや人と犬の幸福に焦点をあて、自分の見解を明確にした議論を展開する様子が見られました。

中学生ラウンド3・高校生練習ラウンド3の論題は「死刑制度を廃止すべきである」でした。犯罪抑止力や罪刑の均衡、人権侵害や世界的な潮流に関して深く論議されました。



中学校 R2 ディベート後のエアー握手の様子 (聖光B vs 洗足)

また、高校生練習ラウンド中は各テーブルで生徒にもジャッジ役を割り振り、他の生徒のディベートを聞いて勝敗やその理由を振り返ってもらう練習を行いました。ジャッジを初めて務めるという生徒もいましたが、事前に行ったジャッジレクチャーを参考に、客観的視点からディベートを評価する体験は新鮮だった生徒も多かったようです。教員の部でもディベートが行われ、実際にディベーターを体験すると同時に、ジャッジの練習を行う機会が設けられました。



高校生 練習 R2 長野 B vs 城南 C



高校生 練習 R2 岐阜 A vs 宇都宮 B



高校生 練習 R3 城ノ内 B vs 翔凜 C



高校生 R3 湘南白百合 B vs 栄光 B



高校生 練習 R3 藤島 B vs 一関第一 A



ディベート後の交流 (松本県ヶ丘 C・慶應)

1 日目の最後は、高校生への部の予選 1 が行われました。予選 1 の論題は「英語よりも、STEAM を学ぶべきである」でした。練習ラウンドでディベーターやジャッジを務めた経験を活かし、活発な議論が行われました。科学技術が目覚ましい進歩を遂げ、グローバル化が進む今日、これからの未来社会を担っていく生徒たちにとっても大変有意義な議論となりました。



予選 R1 佐野 A vs 関西創価 A



予選 R1 ディベート後のエアークラップ（鹿児島中央・藤島 B）

高校生への部・教員への部で熱い議論が交わされる中、中学生への部の閉会式が行われました。閉会式では、ベストチーム賞、ベストディベーター賞、ベスト POI 賞の発表が行われ、受賞を喜び合い、健闘を称えました。



中学生・ベストディベーター賞



中学生・ベスト POI 賞



1 位 神大附属 B



2 位・白百合 A



3 位・翔凜 A

## 2 日目

2 日目は朝から予選 2 が行われました。予選 2 の論題は「銃撃事件の映像は報道すべきでない」でした。Zoom を用いたディベートにやや慣れてきた様子で、POI 等積極的にディベートに参加していました。



高崎経済朝倉 vs 関西大倉 C



伊那北 D vs 茅ヶ崎北陵 C



宇都宮 B vs 久留米

続いて、九州大学の 大賀哲先生による、予選ラウンド 3 の論題に関するキーノートレクチャーが行われました。専門的視点から語られる公共政策に関するレクチャーは生徒達にとって貴重だったようで、興味津々に聴講していました。



大賀哲先生によるキーノートレクチャーの様子

予選 3 の論題は「公共政策は、少数の専門家や官僚ではなく、世論調査に基づくべきである」です。今までの論題の中で専門性が高く少し難しい議題でしたが、POI 等を大いに活用し、議論百出する生徒達の姿が見られました。



牛久 B vs 高崎経済・大倉



相模原 B vs 屋代 C

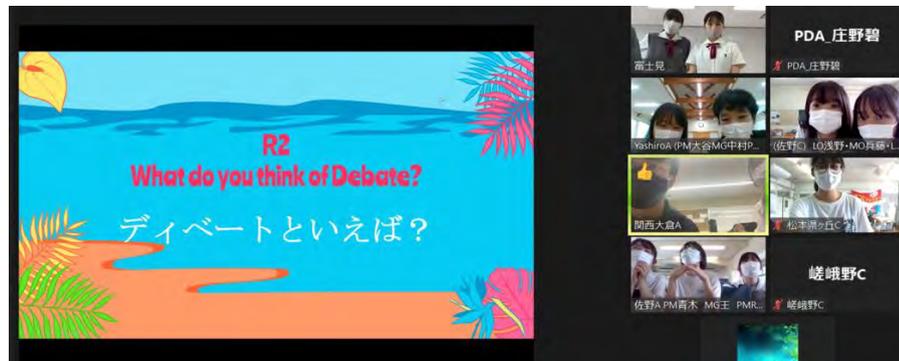


松本県ヶ丘 C vs 関西大倉 A



神大附属 B vs 藤島 A

昼食前に、zoom上でレクリエーション「Telepathy game～以心伝心ゲーム～」が行われました。以心伝心ゲームでは、出たお題をもとに連想する単語を共有しました。グループ内で同じ単語が出ればポイントがもらうことができます。生徒達は和気藹々と意見を交わしていました。先生やPDAスタッフも参加し、楽しいレクリエーションとなりました。以心伝心ゲームのアイスブレイクのお蔭か、休憩時間も昼食をとりながら推しの話などで大いに盛り上がりました。



レクリエーションの様子（お題に合わせて回答を考えます）



レクリエーション後の昼食交流会の様子

その後昼食を経て、準決勝進出チーム（授業の部、課外活動の部(一般)）、決勝進出チーム（課外活動の部(初心者)）の発表（ブレイクアナウンスメント）が行われました。予選とは違い、多くの観客が見守る中、準決勝（授業の部、課外活動の部(一般)）、決勝（課外活動の部(初心者)）が開催されました。論題は「NATOはウクライナに派兵すべきである」です。NATOの今後の動きについて熟考するタイムリーで大切な議論となりました。ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻が激化する中、生徒達による舌戦が展開されました。



授業の部 準決勝① 白鷗女子A vs 作新D 授業の部 準決勝② 作新C vs 城南A



課外の部(初心者) 決勝 南山女子 vs 作新B



課外の部(一般) 準決勝① 藤島 A vs 藤島 C 課外の部(一般) 決勝② 神大附属 A vs 東海



教員ディベートのエアー握手の様子

また、各ラウンドの準備時間には、PDA 学校会員の特典である「PDA 自動ディベートワードシステム」「遠隔ディベート (PDA 大練習会)」や、今年度から始まった一般向けイベント「キーノートディベート」についての紹介がありました。

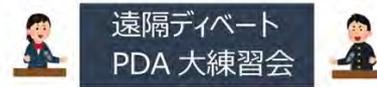
「PDA 自動ディベートワードシステム」は、今大会などでも使用している単語シートを自動で作成するシステムで、一から作るのが大変な単語シートを作るサポートをしてくれます。

また、「遠隔ディベート (PDA 大練習会)」は月に一度開催されており、全国津々浦々からディベートをしたい高校生が集まり、練習を行っています。練習後には論題に関する解説も行われ、参加している生徒にとっては交流の場・学びの場となっています。遠隔ディベートに参加したことのある生徒は、「いつもは同じ学校の人とディベートしているが、他の高校の人とディベートすることがとても刺激になる。」と感想を述べ、またジャッジとして参加している教員も「数少ないジャッジの練習ができる機会となっている」と述べました。

「キーノートディベート」では、ディベーター・ジャッジ・オーディエンスに分かれ、ディベートを行います。その後、その論題に関する最先端の研究を行っている研究者からキーノートスピーチが行われます。キーノートディベートに毎月参加している教員は、「ディベートをしているとロジックや英語表現に意識が行きがちだが、それでは架空の議論になってしまうことがある。実際の状況を学ぶことにより、地に足のついた議論がすることができる。キーノートディベートはそのための学びが得られるため、教員にはぴったりのイベントだと思う」と感想を述べました。



PDA 自動ディベートワードシステム



**【PDA 学校会員限定】  
遠隔ディベート (PDA 大練習会)**

毎月1回、大練習会形式の遠隔ディベートを開催いたします。

- ・1校1チームの申込み可能です。学校数の上限はありません。
- ・当日は、PDA スタッフによるサポート。各チームの学校を遠隔で行い、プレイアウトルームにて各校がディベートできる体制を整えます。
- ・議題は、PDA で準備します。
- ・各プレイアウトルームでの進行・ジャッジは、各校にて自由に調整いただけます。
- ・授業での参加も可能です。
- ・なお、チーム総数が奇数の場合、ディベートができないことがある場合があります。

遠隔ディベート (PDA 大練習会)



参加者が遠隔ディベートの感想を述べる様子



キーノートディベート

いよいよ決勝です。決勝の論題は「日本は原子力発電所の利用を促進するべきである」です。2日間オンラインで開催された本大会の最後にふさわしい議論が交わされ、出場者は皆堂々とディベートを行いました。本合宿では生徒がジャッジを経験したため、準決勝や決勝では見学生徒自身も勝敗を出せるよう真剣に観戦しました。



授業の部 決勝 白鷗女子 A vs 城南 A



課外の部(一般) 決勝 藤島 A vs 神大附属 A

結果

〈中学生の部〉

チーム賞

- 1位：神戸大学附属中等教育学校 B
- 2位：白百合学園中学高等学校 A
- 3位：翔凜中学校 A
- 4位：洗足学園中学高等学校
- 5位：聖光学院 B

ベストディベーター賞※☆は3回選ばれた生徒

- ・聖光 B \_\_\_\_\_さん☆
- ・洗足 \_\_\_\_\_さん☆
- ・神大附属 C \_\_\_\_\_さん
- ・神大附属 B \_\_\_\_\_さん
- ・神大附属 A \_\_\_\_\_さん
- ・南山女子 B \_\_\_\_\_さん
- ・南山女子 B \_\_\_\_\_さん
- ・聖光 A \_\_\_\_\_さん
- ・白百合 A \_\_\_\_\_さん
- ・翔凜 A \_\_\_\_\_さん

ベストPOI賞※☆は3回選ばれた生徒

- ・神大附属 B \_\_\_\_\_さん☆
- ・聖光 A \_\_\_\_\_さん☆
- ・洗足 \_\_\_\_\_さん☆
- ・神大附属 A \_\_\_\_\_さん
- ・聖光 C \_\_\_\_\_さん
- ・聖光 B \_\_\_\_\_さん
- ・都立大泉 A \_\_\_\_\_さん
- ・品川女子 C \_\_\_\_\_さん
- ・翔凜 B \_\_\_\_\_さん
- ・翔凜 A \_\_\_\_\_さん

〈高校生の部〉

チーム賞（授業の部）

- 優勝：白鵬女子高等学校 A
- 準優勝：福岡県立城南高等学校 A
- 3位：作新学院高等学校 C  
作新学院高等学校 D

チーム賞（課外活動の部 初心者）

- 優勝：作新学院高等学校 B
- 準優勝：南山高等学校女子部

チーム賞（課外活動の部 一般）

- 優勝：神戸大学附属中等教育学校 A
- 準優勝：福井県立藤島高等学校 A
- 3位：福井県立藤島高等学校 C  
東海高等学校

ベストディベーター賞（授業の部・課外活動の部初心者）※☆は3回選ばれた生徒

・四日市	_____さん☆	・相模原 C	_____さん
・白鵬女子 A	_____さん☆	・相模原 B	_____さん
・一関第一	_____さん	・茅ヶ崎北陵 B	_____さん
・久留米	_____さん	・都立大泉	_____さん
・嵯峨野 A	_____さん	・東邦	_____さん
・南山女子	_____さん	・高崎経済・朝倉	_____さん
・伊那北 D	_____さん	・作新 B	_____さん
・伊那北 C	_____さん	・佐野 C	_____さん
・屋代 C	_____さん	・宇都宮 B	_____さん
・長野 B	_____さん	・宇都宮 A	_____さん
・藤島 D	_____さん	・清真	_____さん
・富山国際 A	_____さん	・牛久 A	_____さん
・聖光	_____さん	・城南 A	_____さん
・柏陽 A	_____さん	・作新 C	_____さん

ベストディベーター賞（課外活動の部 一般）※☆は3回選ばれた生徒

・城之内 A	_____さん☆	・藤島 C	_____さん
・城之内 B	_____さん	・藤島 C	_____さん
・神大附属 B	_____さん	・藤島 B	_____さん
・神大附属 A	_____さん	・富山国際 D	_____さん
・関西創価 A	_____さん	・富山国際 C	_____さん
・東海	_____さん	・栄光 B	_____さん
・松本県ヶ丘	_____さん	・湘南白百合 A	_____さん
・長野 A	_____さん	・翔凜 B	_____さん
		・清真 A	_____さん
		・一関第一 A	_____さん

ベスト POI 賞（授業の部・課外活動の部初心者）※☆は3回選ばれた生徒

・相模原 B	_____さん☆	・獨協 C	_____さん
・富士見	_____さん☆	・獨協 B	_____さん
・佐野 C	_____さん☆	・品川女子	_____さん
・牛久 A	_____さん☆	・作新 B	_____さん
・一関第一 D	_____さん☆	・佐野 D	_____さん
・城ノ内 C	_____さん	・宇都宮 B	_____さん
・神大附属 C	_____さん	・宇都宮 A	_____さん
・嵯峨野 A	_____さん	・清真 B	_____さん
・松本県ヶ丘 C	_____さん	・城南 B	_____さん
・長野 B	_____さん	・城南 A	_____さん
・藤島 D	_____さん	・白鵬女子 A	_____さん
・聖光	_____さん		

ベスト POI 賞（課外活動の部 一般）※☆は3回選ばれた生徒

・城ノ内 B	_____さん☆	・藤島 B	_____さん
・長野 A	_____さん☆	・富山国際 D	_____さん
・栄光 A	_____さん☆	・富山国際 C	_____さん
・湘南白百合 B	_____さん☆	・翔凜 B	_____さん
・清真 A	_____さん☆	・作新 A	_____さん
・一関第一 A	_____さん☆	・佐野 B	_____さん
・城ノ内 A	_____さん	・佐野 A	_____さん
・静岡	_____さん	・一関第一 C	_____さん
・岐阜 B・関西創価 B	_____さん	・盛岡第一 A	_____さん
・屋代 A	_____さん		

## アンケート（抜粋）

### 生徒の声（中学生）

- 普段は自分の知ってる人しか試合をやらないので、他校の方と試合するところできて、これからにもつながるいい経験となりました！（湘南白百合学園中学校・2年）
- 論題がおもしろかった。（神戸大学附属中等教育学校・2年）
- 他学年とも交流できたし難しかったですが論題が何になるのか、などドキドキしたり楽しかったです。（南山中学女子部・3年）
- 他校との交流ができて楽しかった。フィードバックもとても参考になった。（都立大泉高校附属中学校・3年）
- 他校との交流があって良かったです。ディベートを一緒にしたことがない人ともできて、新たな改善点やディベートの特徴に出会えたので良かったです。（神戸大学附属中等教育学校・3年）
- まさに「井の中の蛙大海を知らず」を実感しましたし、議論も白熱して面白かったです！（南山中学女子部・2年）
- まず、この大会を準備して下さった関係者の皆様本当にありがとうございました。今までの成果を十分に発揮し、リプライスピーカーとして、ベストディベーター賞も頂き、大変光栄です。他校の方ともたくさん会話する機会があり、今までの大会の中で最も充実した大会だったと思います。ありがとうございました。（神戸大学附属中等教育学校・3年）
- 他校との交流で、たくさんの方のことを相手チームから学べたり、ジャッジの先生からの的確なアドバイスをもらえて、自分の課題が見えてよかったです。（東洋英和女学院・3年）
- 英語で意見を伝え合うのが楽しかったです。（品川女子学院・1年）

### 教員の声（中学校）

- 中学、高校とこれだけ規模の大きい大会を様々な人の力で運営されていることに感動しました。様々な学びをありがとうございました。
- 実際にやってみて、とても難しくチャレンジングでしたが、良い経験になりました。

### 生徒の声（高校生）

- 初めて対戦できる高校の方々が沢山いてめちゃくちゃ楽しかったです。（翔凜高校・2年）
- 後輩と共に充実した期間を過ごすことが出来た。（品川女子学院・2年）
- たくさんの方と交流することができ、新しい考えを得ることが出来た。（一関第一高校・2年）
- ディベートという普段ではできない体験をすることが出来たので、本当に楽しかったです。（作新学院高校・1年）
- いままで英語でディベートちゃんとできたことがなかったけどどんどん話せるようになった。（関西大倉高校・1年）
- はじめてのディベート大会で、2連続負けたけれど、2日目は2連続勝ててはじめてディベートが楽しくなりました。そしてベストディベーター賞受賞させていただくこととなりましたが、チームメイトがとても親切丁寧に協力してくれたので楽しくできました。（茅ヶ崎北陵高校・1年）
- ディベート詰めの2日間、何ラウンドも練習ができて、とても楽しかったです。結果は負けてばかりだったが、とてもよい経験になりました！（岐阜高校・1年）
- 対戦して下さった学校はみんなレベルが高く、自分たちの論をどうやったらジャッジにより説得力あるように説明できるかチームで協力して試合に挑めた。（屋代高校・2年）

- 良い結果が出なくてもジャッジの方に改善点や新しい技などを教わることでよかったです。（佐野高校・2年）
- 他校とのディベートのし合いがとてものしかった。また、さまざまなテーマについて考えることができた。（茅ヶ崎北陵・1年）
- 初めて全国規模の練習会に参加したので、初めて対戦する高校ばかりで、いろいろな意見を聞けたので楽しかった。また、積極的にPOIをして、POI賞ももらえたので楽しかった。（一関第一高校・1年）
- 去年は悔しい結果で、今年は自分たちの代で中心となってディベートができて、準優勝できてとてもうれしかったです！ディベートを愛する仲間と深い議論をすることができて最高の瞬間でした！良い思い出になりました！これからのディベートの活力にしていきたいと思います！（福岡県立城南高等学校・2年）
- ディベートの試合はもちろん、そのあとの他校の皆さんとの交流が面白かったからです。また、ジャッジの方々に指摘してもらったことを生かして練習していきたいです。（徳島県立城ノ内中等教育学校・2年）
- 強い学校とあたって深いところまで議論を発展させることができ、キーノートレクチャーを通して知識を増やすこともできて、本当に楽しかったです。（
- ジャッジ体験では、どのようにジャッジが考えながらディベートを聞くのか、ということ意識することができた。大切になってくるポイントを自分の中で吸収して、自分のディベートに活かそうと思う。（静岡高校・1年）
- ジャッジ体験では、全員の点数をつけたりアタックが有効なのかを考えたりするジャッジの難しさがわかりました。スピーカーを客観的に見れたので何が自分のスピーチに足りないのかわかりました。（鹿児島中央高校・2年）
- 他校の生徒との交流やキーノートレクチャーによる学びで、自分のモチベーションが上がった。（一関第一高校・2年）

#### 教員の声（高校）

- どの論題も面白かったです。キーノートレクチャーも素晴らしかったです。
- 当初、教員ラウンドもあるのかと憂鬱でしたが、やってみたら意外に楽しませていただきました。
- 普段大人しい生徒たちでしたが、本気で楽しんでいる姿を初めて見られました。ディベートの可能性を感じられた2日間でした。
- 教員同士のディベート実践が刺激的で、先生方のスピーチはもちろん、ジャッジをしてくださった方々のコメントがも、とても勉強になりました。生徒のディベートもたくさんジャッジをさせていただき、ありがたかったです。ディベートの生徒さんたちは、皆とても礼儀正しく、ディベートとしての姿勢が素晴らしかったです。先生方の日頃の指導の賜物だと思いました。論外のチョイスも興味深く、時事問題に詳しい生徒は、様々な具体例を出せたのではないかと思います。（）
- 実際に教員としてディベートを行い、他のディベーターの先生から学ぶことも多かつたし、ジャッジの方のコメントから、役割ごとにどのようなスピーチの構成にすればよいかなど、非常に勉強になりました。
- 始めたばかりなので、体験できてよかったです。授業に役立てたいと思います。

ご支援、ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

以上

(写真) 学校からの写真の送付ご協力をありがとうございました。



ベストディベーター賞受賞者



ベスト POI 賞受賞者



授業の部 決勝 エア一握手 (白鷗女子 A・福岡県立城南高校 A)



白鷗女子 A 就業写真・ディベートの様子



藤島高校集合写真



神戸大学附属中等教育学校 A チーム



清真学園



課外の部(初心者)優勝 作新学院 B チーム



授業の部 3位 作新学院 C チーム・D チーム



栃木県立佐野高等学校



神奈川県立柏陽高等学校 ベストディベーター



## 文部科学省後援 第8回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2022年12月24日(土)、25日(日)

(1日目) 予選4試合、(2日目) 準々決勝、準決勝、決勝、キーノートレクチャー

会場：オンライン開催 (Zoom)

主催：一般社団法人 パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

共催：東京大学生産技術研究所、大阪公立大学

後援：文部科学省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、全国高等学校長協会、一般社団法人  
日本英語交流連盟、一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟

協賛：東京大学生産技術研究所次世代育成オフィス (ONG)

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

参加校：



(北海道) 北海道釧路湖陵高校(青森県) 青森県立青森高校、八戸聖ウルスラ学院高校(岩手県) 岩手県立一関第一高校、岩手県立盛岡第一高校、盛岡中央高等学校(宮城県) 仙台市立仙台青陵中等教育学校(秋田県) 秋田県立本荘高校(山形県) 山形県立東桜学館高校、山形県立山形東高校(茨城県) 清真学園高校、東洋大学附属牛久高校(栃木県) 栃木県立宇都宮高校、栃木県立宇都宮東校、栃木県立佐野高校、作新学院高校(群馬県) 群馬県立前橋高校(埼玉県) 埼玉県立浦和高校、埼玉県立浦和第一女子高校、さいたま市立浦和高校(千葉県) 翔凜高校、渋谷教育学園幕張高校、東邦大学附属東邦高校(東京都) 東京都立日比谷高校、東京都立小石川中等教育学校、東京都立武蔵高校、東京都立富士高校、東京都立三田高校、千代田区立九段中等教育学校、筑波大学附属駒場高校、渋谷教育学園渋谷高校、獨協高校、品川女子学院高等部、山崎学園富士見高校(神奈川県) 神奈川県立相模原高校、神奈川県立茅ヶ崎北陵高校、神奈川県立多摩高校、神奈川県立柏陽高校、神奈川県立横浜翠嵐高校、神奈川県立湘南高校、聖光学院高校、栄光学園高校、浅野高校、湘南白百合学園高校、慶應義塾高校(富山県) 富山国際大学附属高校(福井県) 福井県立藤島高校(長野県) 長野県長野高校、長野県伊那北高校、長野県屋代高校、長野県松本県ヶ丘高校(岐阜県) 岐阜県立岐阜高校(静岡県) 静岡県立静岡高校(三重県) 三重県立四日市高校、三重県立川越高校(滋賀県) 滋賀県立彦根東高校(京都府) 京都府立嵯峨野高校、京都市立日吉ヶ丘高校(大阪府) 大阪府立北野高校、関西大倉高校、関西創価高校(兵庫県) 神戸大学附属中等教育学校、神戸市立葺合高校、雲雀丘学園高校(奈良県) 奈良県立奈良高校(鳥取県) 鳥取県立鳥取西高校(徳島県) 徳島県立城ノ内高校(福岡県) 福岡県立東筑高校、福岡県立城南高校、福岡県立香住丘高校(熊本県) 熊本県立熊本高校、熊本県立八代高校、熊本県立熊本商業高校、真和高校(鹿児島県) 鹿児島県立大島高校、鹿児島県立鹿児島中央高校、鹿児島県立鶴丸高校

(沖縄県) 沖縄県立球陽高校、沖縄県立前原高校 (滋賀県) 滋賀県立膳所高校 合計 79 校

開催趣旨：

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。

本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の高校生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。(参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>)

論題 (論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます)：

予選 1 : **Being single is better than getting married in the modern world.**

(これからは結婚するよりも、独身の方がよい。)

予選 2 : **Japan should increase defense spending.**

(日本は防衛費を増額すべきである。)

予選 3 : **Online education should be introduced in junior high and high schools, and school districts should be abolished.**

(中高ではオンライン教育を導入し、学区を撤廃すべきである。)

予選 4 : **Students should be instructed in debate by AI rather than by teachers.**

(生徒は、教員よりも AI にディベートを指導されたほうがよい。)

準々決勝 : **Consumer behavior (ownership and use of things) should be limited to achieve carbon neutrality.**

(カーボンニュートラル実現のために、消費者の行動(所有、利用)は制限されるべきである。)

準決勝 : **Entrepreneurship should be pursued rather than employment at a big company.**

(大企業での就職よりも、起業を目指すべきである。)

決勝 : **Living in the U.S. will be better than living in Japan in the future.**

(将来は、日本に住むよりもアメリカに住む方がよい。)

キーノートレクチャー講師：

- Robust Intelligence 共同創業者 大柴行人氏
- 東京大学生産技術研究所 特任教授 岩船由美子氏
- 株式会社アドダイス 代表取締役 CEO 伊東大輔氏

## 1 日目

本大会は昨年に引き続き、オンラインでの開催となりました。北は北海道から南は沖縄まで、全国から高校生・教員・見学者が Zoom のミーティングルーム内に集まりました。数多い参加者で画面が埋め尽くされました。大会でのルール諸注意、PDA 認定教育ジャッジの紹介、ジャッジ手順の確認が行われました。対面大会ではディベート後に対戦相手全員と握手をしますが、オンライン開催の今大会ではエアークラッシュを交わします。開会式の最後には、エアークラッシュの練習が行われ、画面越しに全員で握手を交わしました。



開会式の様子



エアークラッシュの練習

開会式が終わると早速 39 テーブルでの予選が始まります。1 日目は予選が 4 試合行われ、その結果を受けて決勝トーナメント戦に進出するチームが決まります。予選 1 の論題は「これからは結婚するよりも、独身の方がよい。」です。様々な家族の形が見られ、結婚を考えない人も増えている今日、様々な意見が飛び交いました。

予選 1 試合後は昼休みです。季節に合わせた部屋の飾り付けをした学校もありました。



予選 1 エアークラッシュの様子 (岐阜高校 VS 富士高校)

予選 2 の論題は「日本は防衛費を増額すべきである。」です。日本政府は 11 月末に行われた有識者会議の報告書を基に国家安全保障戦略などの防衛三文書を年末に策定する予定です。1 試合目でジャッジにもらったアドバイスなどを参考にしながら、さらにレベルの高いディベートが行われました。防衛力の抜本的強化、反撃能力の保有、米国依存から脱する自衛力強化、防衛力強化の財源などに関して議論沸騰する様子が見られました。



予選2 POI！（釧路湖陵高校 VS 川越高校）

予選2と予選3の間にPDA代表理事中川よりレクチャーが行われました。レクチャーでは、PD検定®（パラメンタリーディベート検定）の説明、学校会員の説明が行われました。PD検定は、英語での論理的表現力を測る試験で、英語で議論する力が身につく問題設計をしています。また、PDA学校会員の説明ではPDA自動ディベートワードシステムなどの特典の紹介が行われました。

13:35~14:10  
レクチャー

### レクチャー PD検定®（パラメンタリーディベート検定）

- パラメンタリーディベート検定®(PD検定®)とは、英語での論理的表現力を測る試験です。
- PD検定®では、英語で即興でディベートを実践することを通し、「英語で議論する力」※が身につく問題設計をしています。

PD 検定について

13:35~14:10  
レクチャー

### レクチャー PDA学校会員

#### PDA自動ディベートワードシステム

自動で関連単語もしくは記事、URLから取得した単語が同率されます。オウム返しに載せた単語を強制的に削除します。C/C/C/C ショールームを設定して取り込むことも可能です。

この次のページで、参考記事を挿入できます。

PDA 学校会員について

予選3の論題は「中高ではオンライン教育を導入し、学区を撤廃すべきである。」です。公立中学校で指定校以外に「学校選択制」が導入されて約10年が経過し、成果や課題が明確になってきました。同時にコロナ禍によるオンライン教育の導入の加速に伴い、新たな教育の形態が生まれ改革が進んでいます。今まさにこのような教育改革を身近に体験しているディベーター達が、リアルな意見を出し合って議論を深める姿が見られました。



サンタ帽を被って交流する様子（一関第一 VS 日比谷） 交流の様子（関西創価 VS 熊本商業）



### 予選3 ジャッジによるフィードバック（盛岡中央高校 VS 球陽高校）

予選4の論題は「生徒は教員よりもAIにディベートを指導されたほうがよい。」です。近年、AI・人工知能の技術が発展したことにより、多くの業種でAIが導入されるようになりました。私たちの日常生活にもAIが活用されるようになり、非常に身近な存在になりました。そのような中、教育分野においてもAIが活用され始めていることで注目を集めています。今回はその中でも特に身近なディベートのAI教育に関するテーマで、生徒にとってもたいへん関心の高い論題でした。第4ラウンドは試合後のジャッジからの勝敗の発表はありません。翌日のブレイクアナウンスメントをお楽しみに！



真和高校



日吉ヶ丘高校



八代高校



準備時間の様子（北野高校）



果敢にPOI！（奈良高校）



予選4 ディベート後のエアー握手（市立浦和高校 VS 渋谷教育学園渋谷高校）

第4ラウンドが終了すると外はすっかり暗くなっていました。熱中していた時間の長さに驚きを隠せません。生徒達は、4試合を全力投球で成し遂げた達成感を胸に素敵な笑顔で1日目に幕を下ろしました。大会1日目はクリスマスイブでした。1日頑張った生徒の皆さん、本当にお疲れ様でした。素敵な夜をお過ごしください！



一関第一高校



真和高校



日吉ヶ丘高校



翔凜高校



鳥取西高校



神大附属中等教育学校



宇都宮東高校



八代高校



鹿児島中央高校

## 2日目

2日目の最初は、決勝トーナメントに進むチームの発表です。

まずは、ジャッジブレイクの発表です。教員や社会人、大学生によるジャッジは、勝敗を決め、ディベーターである生徒にその理由と個人コメントを、教育的配慮をしつつ論理的に述べます。ジャッジのコメントに対して、どの程度生徒が納得できたか、またどの程度次への学習意欲を高めることができたかという観点で、生徒はジャッジを10段階評価します。平均点が高かった30名の先生が発表されました。おめでとうございます。上位に選ばれた先生は決勝トーナメントでジャッジを務めていただきます。

次に、準々決勝に出場するチーム1位から8位までが発表されました。喜びの音が響き渡りました。

## 予選結果

- 予選1位 聖光学院高等学校
- 予選2位 神戸大学附属中等教育学校
- 予選3位 栄光学園高等学校
- 予選4位 山形県立東桜学館高等学校
- 予選5位 筑波大学附属駒場高等学校
- 予選6位 長野県長野高等学校
- 予選7位 岐阜県立岐阜高等学校
- 予選8位 福井県立藤島高等学校

準々決勝の論題は「カーボンニュートラル実現のために、消費者の行動（所有、利用）は制限されるべきである」という論題でした。出場者が準備をしている間、Robust Intelligence共同創業者である大柴行人氏にAIに関するレクチャーをしていただきました。第4試合のテーマにもなったように、身近によく聞くもののいまいち理解が難しいAIについて具体的且つわかりやすい説明をしていただき大変勉強になりました。質疑応答では、ディベートを通して抱いた疑問について、積極的に質問する様子が見られました。



大柴行人氏によるレクチャー



質疑応答の様子

準々決勝は 4 つの会場で行われました。カーボンニュートラルというホットなトピックでの試合でした。難しい論題でしたが、準々決勝ということもあり「気候変動のせいで多くの人が苦しんでいて、行動を制限してそれを防がないといけない」「まず消費者自身の生活を優先しないとけず、かえって逆効果になってしまう」、などの論理的且つ深い分析に裏付けされた主張が飛び交い、どの試合も白熱したものとなりました。



準々決勝（聖光 VS 藤島）



準々決勝（岐阜 VS 神大附属）



準々決勝（聖光 VS 長野）



準々決勝（筑駒 VS 東桜）

準々決勝終了後は、お昼休みです。ZOOM のブレイクアウトルームを使った生徒同士の交流が行われました。遠く離れた高校同士でも簡単に交流できるというオンライン開催の利点を活用し、仲良く話をする姿が沢山見られました。

青森では雪が積もり、その様子を見た関東の高校生が驚く表情も見られ、全国大会ならではの地域を超えた交流が行われました。



生徒交流会の様子（鹿児島中央・聖光・富士）



生徒交流会の様子（栄光・日比谷・青森）

生徒の交流が行われると同時に、各校校長先生、教育委員会の方々とのご挨拶と記念写真撮影をしました。イベント開催が難しい現状の中、この規模の大会が実現したのは校長先生方、教員の皆様のご理解、参加校の皆様のおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。



校長先生方との記念写真

昼食後、準決勝進出チームが発表されました。準決勝の論題は「大企業での就職よりも、起業を目指すべきである。」です。準備時間の間、東京大学生産技術研究所特任教授である岩船由美子氏に準々決勝の論題に関するレクチャーをしていただきました。カーボンニュートラルの実現に向けて、消費者と政府や企業の間どのような問題が起きているのか、実際の事例をご紹介いただきながら、新たな視点で丁寧に説明してくださいました。生徒からは自分の住んでいる地域で実際に起きている問題を踏まえた質問など、非常にレベルの高い質問がよせられました。



岩船由美子氏によるキーノートスピーチ

準決勝では、安定性の面や成功・失敗の可能性などについてさまざまな分析が飛び交いました。中には、起業支援に関する取り組みが増えている背景を説明するにあたり、近くの大学の取り組みを事例として提示し、具体的に説明する場面もありました。



準決勝での POI（東桜 VS 聖光）



準決勝 ディベート後のエアークラッシュ（神大附属 VS 栄光）

準決勝の後はいよいよ決勝戦、そしてそれと同時に3位決定戦が行われました。決勝戦や3位決定戦という場にふさわしく、「将来は、日本に住むよりもアメリカに住む方がよい。」という自由度が高く多様な議論を展開できる論題が出されました。

また、決勝、3位決定戦の準備時間の間に、株式会社アドダイス代表取締役 CEO である伊東大輔氏にレクチャーをしていただきました。準決勝のテーマにもなっている起業がどのようなものであるかについて自身の体験、展望を紹介していただきながら具体的に説明をしていただきました。特に起業に興味を持つ生徒たちから活発に質問が寄せられ、起業に挑戦することが持つ意義という観点で、生徒の視野を広げていただきました。



伊東大輔氏によるキーノートレクチャー

レクチャーが終わり、いよいよ最後の試合が行われました。幅広い観点から話せるだけに、論理的な主張を立てるのが難しい論題ではありましたが、「どうしてアメリカに移住することでのみ成功できるのか」「なぜ日本でのみ心身ともに平和に暮らせるのか」といったポイントがなぜ自分たちのサイドでのみ起きるのか、またそこから起きる事象の重要性といったことが論理的に説明されており、どちらもとても白熱した試合となりました。



決勝戦（聖光 VS 栄光）



3位決定戦（神大附属 VS 東桜）

決勝戦の後、表彰式が行われました。チーム賞、個人賞の授与が行われ、生徒たちは喜びや悔しさに満ちた表情をしていました。また、文部科学省・外務省後援 第8回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会（ワールドコンGRESS）への出場権を手に入れた学校も発表されました。

最後に、予選すべてのラウンドでベストディベーターに生徒や、優勝校代表生徒が全国大会の感想を述べ、第8回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会の幕が閉じました。



栄光学園代表生徒による感想

## 第8回 PDA 高校生即興型英語ディベート全国大会結果

### <チーム賞>

優勝：栄光学園高等学校

準優勝：聖光学院高等学校

第3位：山形県立東桜学館高等学校

準決勝出場チーム（第4位）：神戸大学附属中等教育学校

準々決勝出場チーム（ベスト8）：

- ・長野県長野高等学校
- ・筑波大学附属駒場高等学校
- ・福井県立藤島高等学校
- ・岐阜県立岐阜高等学校



ベスト8 集合写真

PDA では、ディベートの強いチーム作りをした学校だけでなく、一般生徒向けに、学校全体で即興型英語ディベートの授業導入された学校を称えます。授業導入賞は、提出された書類やカリキュラムから選ばれました。

### <授業導入優秀賞>

- ・神奈川県立横浜翠嵐高等学校
- ・福岡県城南高等学校
- ・長野県屋代高等学校

### <授業導入賞>

- ・岩手県立一関第一高等学校
- ・秋田県立本荘高等学校
- ・山形県立東桜学館高等学校
- ・学校法人東洋大学附属牛久高等学校

- ・栃木県立宇都宮高等学校
- ・さいたま市立浦和高等学校
- ・東邦大学附属東邦高等学校
- ・都立日比谷高等学校
- ・神奈川県立相模原高等学校
- ・慶應義塾高等学校
- ・長野県長野高等学校
- ・京都府立嵯峨野高等学校
- ・京都市立日吉ヶ丘高等学校
- ・大阪府立北野高等学校
- ・徳島県立城ノ内中等教育学校
- ・福岡県立香住丘高等学校
- ・熊本県立熊本高等学校
- ・熊本県立熊本商業高等学校
- ・鹿児島県立大島高等学校
- ・沖縄県立球陽高等学校

<その他個人賞> (多数、個人名は略)

- ・ジャッジ賞、ベストディベーター賞、POI賞、文部科学大臣賞 (ベストスピーカー賞)



ベストディベーター賞 集合写真



ベスト P0I 賞 集合写真

以上の結果を受け、第 8 回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会への出場権は、以下の 6 校に進呈されました。

<1 位～3 位> 栄光学園高等学校、聖光学院高等学校、山形県立東桜学館高等学校

<授業導入優秀賞> 神奈川県立横浜翠嵐高等学校。福岡県城南高等学校、長野県屋代高等学校

## キーノートレクチャーの感想（抜粋）

- ・カーボンニュートラルのレクチャーが非常に勉強になった。（柏陽）
- ・伊東先生のお話が特に夢があって良いと思いました。（宮崎西）
- ・わかりやすくてよかったです!ディベートの論題と関連付けて考えられたのが良かったです。（都立富士）
- ・興味深いテーマと、わかりやすい講演で、聞いててとても楽しかった。（球陽）
- ・起業家の方や教授の方など、普段関わりのない人たちの話が聞けて面白かった。（彦根東）
- ・現代の問題に関連したお話が聞けて、これからのディベートに活かせそうだと思います。（湘南白百合）
- ・大柴さんのお話を聞くまで、ディベートにおける AI による指導の悪いところはそこまではないと考えていましたが、人間がプログラムをし、さらに拡張していく AI だからこそバイアスを持っているという話が聞けてためになりました。（宇都宮東）
- ・多忙な師走の一大イベント;クリスマスの日に3名も私たちのために講演をしてくださり、ありがとうございます。内容がとても良かったし、話し方も高校生でもわかるようにして下さったので素晴らしかったです。（宇都宮東）
- ・講師の方が豪華で、レクチャー内容がわかりやすかったです。（藤島）
- ・起業をしたい私にとっては有益だった。（獨協）
- ・カーボンニュートラルのお話など、今までよく分からなかった分野について詳しく知るきっかけとなり、これからのディベートにも活かしていきたいと思った。（大島）
- ・自分があまり知らない科学系の分野が多くて、自分からは進んで調べない内容だったので、新たな発見がたくさんあり、今の日本の現状もしれてよかったです。（日吉ヶ丘）
- ・短時間で、現場の声を直接聞けるのは素晴らしいことです。（教員）
- ・15分が短く感じました。30分位聞きたいです。（教員）
- ・理解を深めてくれる、大変貴重な時間でした。（教員）
- ・ためになります!授業でも役に立ちます!（教員）
- ・今、話題になっていたり、問題になっているホットな情報について、それに実際に深く関わっていらっしゃる方からのご意見をいただけて勉強になりました。（教員）
- ・短い時間で大変参考になる話を聞いた。第一線で活躍されている方ばかりで、刺激を受けました。（教員）
- ・貴重なお話をありがとうございました。PDAでしか伺う事のできないかなり高度なレクチャーです。（教員）
- ・現場で実践されている方のご意見が聞けてとてもよかったです。（教員）

## アンケート（抜粋）

### 【生徒の声】

- ・多くの学校と有意義なディベートができて、とても楽しい機会になりました！（屋代）
- ・本当に楽しかったです！！このような多くの学びを得られる機会を設けて頂いたことに感謝致します。（県立前橋）
- ・とても貴重な経験させて貰えて、この機会に感謝したいです。（三田）
- ・高校生活の一番の思い出になりました！準々決勝で負けてしまって本当に悔しいけれど、やれることはできたと思います。素晴らしい機会をくださって本当にありがとうございました。（長野）
- ・今までで一番いいと思えるディベートをできたと思います。英語嫌いもある程度和らぎ、やってみて良かったと思います。ありがとうございます。機会があれば今度はジャッジもやってみたいです。（青森）
- ・勉強になり、英語学習に対する刺激を得られた貴重な経験になりました。ありがとうございました。（東筑）
- ・各高校の英語力に感心し、より自分たちも練習を積んで上手になりたいと思った。（奈良）
- ・素晴らしい大会を感謝してくれたことに感謝したい。英語の学習へのモチベーションが大変上がりました。（鳥取西）
- ・ジャッジの先生方に沢山のアドバイスを頂け、これから成長できる良い経験になりました。（品川女子）
- ・日本全国の高校とディベートをできたり、交流できたりして貴重な経験となりました。（静岡）
- ・全国トップクラスのスピーチが聞けてとても楽しかったです！！論の詰め方が素晴らしかったし、無駄がなくて聞いて感動しました。（鶴丸）
- ・結果は悔しかったけど、また参加したいなと思いました。（宇都宮東）
- ・初出場でしたが、全国の皆さんのよりどりみどりのディベートを体験できて本当にたくさんの学びがありましたし、ワクワクドキドキで楽しかったです。（都立武蔵）
- ・この度はこのような貴重な機会を設けていただき、本当にありがとうございました。全国の方々との対戦で自分の改善点を知れたことや、日本全国の高校生と交流できたことは、とても良い思い出になりました。来年は対面での開催ができればいいなと思います。（彦根東）
- ・初めての経験だったのですが、とても良い経験になりました。チームのみんなとも仲が深まり、他校の生徒とも交流することができて嬉しかったです。多くの考えを知ることができ知識の幅が広がりました。（川越）
- ・さいっこうに楽しかったし、もっともっともっと上手になりたいと思う大きなきっかけになりました。本当にありがとうございました！！（岐阜）

- ・夏合宿よりもハイレベルな大会になったと感じました。評価基準が細かく決められているので、それを意識することでより自分の力になったと思いました。(富士見)
- ・自分と同じ高校生がここまでできるのかととても刺激を受けました。(茅ヶ崎北陵)
- ・遠隔の障壁に関係なくディベート出来る体制が整っていてとてもディベートがやりやすかったです。ありがとうございました。(城南)
- ・今までしたことのない論題もあり、「その考え方があったか!!!」と自分の知識がより増えた機会でした！勉強になりました！！(川越)
- ・全国のいろいろな学校と交流、ディベートできる貴重な機会でした！また、ジャッジの方からのコメントも参考になりました。これからより一層頑張ろうと思える大会でした！ありがとうございました！！(一関第一)
- ・とてもいい経験になりました。ジャッジの方々からもとても良いアドバイスをもらい、試合も楽しんでできました。(球陽)
- ・悔しくも、BEST8入りをのがしてしまいましたが、感覚的に今までで1番上手くできたと感じられ、これまでにないくらい達成感がある大会でした。とても貴重な体験が出来ました。本当にありがとうございます。(屋代)
- ・いろいろな学校と交流できて楽しいクリスマスだった。(鹿児島中央)
- ・難しかったのですが、自分の力を知ることの出来た貴重な機会でした。悔しかった事も嬉しかった事も沢山ありました。今回の事を次に活かせるようこれからもディベートを頑張ります！(富士見)
- ・非常に楽しかった。また、今後の活動への意欲も上がった。来年も出たいので、努力していきます。(相模原)
- ・上位の高校の皆さんの試合を見させていただき、発話量や即興での対応力などについてすごいなと思いつつ、どうすればそのレベルまでたどり着けるのかというスモールステップなどが知りたいと思いました。(東筑)
- ・ディベートを始めてから論理性を学ぶことができました。ディベートをやっていないと学べなかったことだと思うので、ディベートをやって本当に良かったです。ありがとうございました！今日はディベート全国大会に出ることができてよかったし、最高のクリスマスプレゼントでした！(青森)
- ・多くの先生方からの指摘をうけ、自分の良い点、改善点を改めて知ることができた。これからのディベートや高校生活で重要なコミュニケーションスキルや思考力をこの2日間で今まで以上に高めることができたと思う。開催していただき本当にありがとうございました！(大島)
- ・初めて参加したが、雰囲気がよくリラックスして参加できた。実際に試合をしてみて、やり方についても学ぶことがあり、成長できたと思う。他の学校の試合を見て、自分の改善点も見つけたので、またいつかディベートに参加し活かしてみたいと思った。(小石川)

- ・最初は不安が大きかったのですが試合をしていく事に自分の言いたいことが少しずつ言えるようになっていって本当に楽しかったです。また機会があれば参加したいと思いません！（香住丘）
- ・光栄な事にこのような素晴らしい大会に出場させて頂きました。ディベートとやっていく上で英語力、表現力、発信力等全ての力が均等に必要なのだと気づきました。得た知識、経験を糧にしてレベルアップしていきたいと思えます。充実した2日間をありがとうございました。（ウルスラ）

#### 【教員・見学者の声】

- ・生徒にとっても教員にとっても大変勉強になり、楽しい大会でした。来年度もよろしくお願いたします。（教員）
- ・私自身、初めて見させてもらいましたが、遠方の高校の生徒さんと、質の高い議論を交わして、また交流できて、とても興味深かったです。（教員）
- ・いつもお世話になります。生徒には大変刺激になり、感謝しています。私自身も知らないことが多くていつも勉強になります。微力ながらこれからも生徒のために授業やクラブ活動に取り入れていきたいと思えます。（教員）
- ・今大会の論題は生徒にとって身近な、また当事者として考えやすい論題が多く、この大会での議論が生徒の未来に役立つものが多かったように感じます。机上の空論になってしまうものよりも、今回の大会の論題のように当事者として考えられる論題の方が教育的意味があると思えました。大会運営の方もかなりスムーズで、タイムマネジメントもほぼ予定通りだったことはとても良い点だと思えます。このような教育的機会を提供していただきありがとうございました。（教員）
- ・コロナ禍でなかなか他校と対戦する機会もないので今年も生徒たちが参加できたことは有益であったと思えます。ありがとうございました。（教員）
- ・ジャッジとして学びが多くありました。ありがとうございました！（教員）
- ・2日間、貴重な機会をいただき、ありがとうございました。地区の交流大会から、学び大き日々を過ごすことができました。来年もよろしくお願いたします。（教員）
- ・試合だけでなく、論題に即した **key note lecture** や、昼休みの交流タイムなど、盛りだくさんな内容が全て充実していて本当に素晴らしい大会だと思えます。（見学）
- ・試合には参加出来ませんでしたでしたが沢山の試合を観戦でき、今の自分の課題や目標が決まりました。（見学生徒）
- ・ほんとに面白かったです！ぜひぜひ次回も参加したいです。次回こそは見学者ではなく実際にメンバーとしてでたいです。（見学生徒）
- ・自分のチームの試合だけでなく決勝トーナメントの試合を見ることができて貴重な経験になった。（見学生徒）

以上



文部科学省・外務省後援

## 第8回 PDA 高校生パーラメンタリーディベート

### 世界交流大会 2023 報告書

一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：

2023年1月20日(金)、21日(土)

会場：

オンライン開催 (Zoom)

主催：	一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)
助成：	公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団
後援：	文部科学省、外務省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、 一般社団法人日本英語交流連盟、大阪公立大学

参加校とディベートチーム：14 か国 24 チーム (日本 6 チーム、海外 18 チーム)

日本	栄光学園高等学校
日本	聖光学院高等学校
日本	山形県立東桜学館高等学校
日本	神奈川県立横浜翠嵐高等学校
日本	福岡県立城南高等学校
日本	長野県屋代高等学校
ルーマニア	CN Al Papiu Ilarian
ルーマニア	Colegiul National Andrei Saguna Brasov ※
タイ	Prince of Songkla University Demonstration School 2 チーム
フィリピン	Caraga Regional Science High School (CRSHS)
フィリピン	Timber City Academy
マレーシア	Chung Ling High School ※
モロッコ	Moroccan National Debate Team
ブラジル	Colégio Harmonia ※

メキシコ	Cumbres Internations School Mexico ※
コスタリカ	Colegio Cientifico de Alajuela ※
ベトナム	Newton Grammar School
トリニダード・トバゴ	THE OXBRIDGE INTERNATIONAL SCHOOL 2 チーム
ウガンダ	Trinity College Nabbingo
ウガンダ	Seeta High School ※
コロンビア	American School
ジャマイカ	Ardenne High School

※=当日参加できなかったチーム



## 大会趣旨

昨今、グローバル化の加速により、多様な文化や考え方を理解し、グローバル社会で貢献できる人財の育成が求められています。

本大会では、パーラメンタリーディベートを通して、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、コミュニケーション力など複数の力を発揮し、様々な国の人と同じ土俵で議論し、成長する機会を提供します。キーノートスピーチなど最新の講演も織り交ぜ、グローバルに活躍できる人財育成とすることを目的とします。ディベートという手法を通して効果的な国際交流を図るプログラムであります。また、スケジュールも国際会議、国際学会に似たものとし、高校生にとって、将来的にこのような世界の舞台に参加するイメージや各々の目標を持ってもらえれば幸甚です。なお、本大会では、文部科学省助成調査研究の結果を踏まえ、通常の授業でできる即興型英語ディベートのフォーマットを用います。そうすることにより、クラブの生徒に加え、一般の生徒も参加しやすい形態となっています。

**論題**（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）

予選 1 : **Having pets should be banned.**

ペットを飼うことを禁止すべきである。

予選 2 : **High school students should have part-time jobs.**

高校生はアルバイトをすべきである。

予選 3 : **Economic sanctions against Russia do more harm than good.**

ロシアへの経済制裁は利益よりも害をもたらす。

予選 4 : **Degrowth should be supported rather than SDGs.**

SDGs よりもむしろ脱成長を目指すべきである。

準決勝 : **All universities should give students the option to graduate online only.**

全ての大学は、オンラインのみで卒業できる選択肢を与えるべきである。

決勝 : **Universities involved in STEM should select students based on diversity rather than academics.**

STEM に関わる大学は、学力よりもダイバーシティで学生を選ぶべきである。

**キーノートスピーカー :**

Lesley Shannon 氏

P.Eng

Professor, School of Engineering Science

Simon Fraser University, Canada



## 1 日目（開会式、予選 3 ラウンド、文化交流、カルチャーナイト）

第 8 回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会が始まりました。開会式では PDA 代表理事の中川智皓から挨拶と各国のチーム紹介（13 ヶ国から 18 チーム、日本からは 6 チーム）がありました。その後ディベートのルール説明がありました。



PDA 代表理事 中川による挨拶



POI の練習

大会 1 日目は 3 つの予選ラウンド、国際交流、カルチャーナイト（世界の国々の文化紹介）が行われました。予選ラウンド中、生徒はお互いのスピーチを熱心に聞き、議論を深めるため積極的に質疑応答（POI、Point of Information）を交わしていました。試合が終わると、相手のスピーチの構成や内容を褒め合う様子が見られました。さらに、ジャッジの先生からの建設的なフィードバックを受け、スピーチをさらにより良くしようとチームメイトと話し合う姿もありました。



栄光学園 VS ルーマニア 1



聖光学院 VS ベトナム



フィリピン 1 VS ジャマイカ



コロンビア VS 屋代



タイ 1 VS 横浜翠嵐

城南 VS タイ 2



東桜学館 VS フィリピン 2

予選 1 ラウンド後には、Zoom ブレイクアウトルームを用いた国際交流が行われました。生徒だけではなく、ジャッジも参加し、お互いの国の時差や季節の話で盛り上がりました。また、コロンビアから参加している生徒は、「夜遅くまで起きて参加して良かったです。」「日本やアジアの方と話すのは初めてで、貴重な経験になりました。」と話しました。



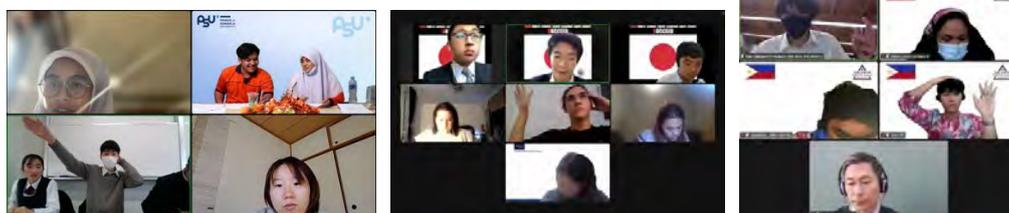
予選 2 では高校生に関連した論題に、自分たちの経験などを具体例として説明しながらディベートをする様子が見られました。ディベート後、ジャッジのコメントを待っている間、お互いの国や学校について話し、交流を深めました。



屋代 VS ベトナム

ジャマイカ VS 東桜学館

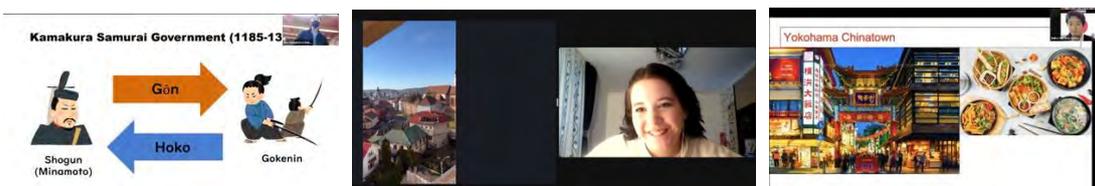
横浜翠嵐 VS ウガンダ 1



タイ 1 VS 城南

聖光学院 VS ルーマニア 1 フィリピン 2 VS 栄光学園

予選 2 ラウンド後には、各チームが自国の文化を紹介し、異文化理解を促進する「カルチャーナイト」が行われました。食、行事、観光名所、生活様式などを自作のビデオを通して伝えたり、民族衣装や飾りを着用して発表をしたりしているチームもありました。他にも歌や踊りを実際に披露するようなチームもありました。



栄光学園

ルーマニア 1

聖光学院



タイ



モロッコ



城南



コロンビア



フィリピン2



ウガンダ1



フィリピン1



屋代



ベトナム



東桜学館



ジャマイカ



横浜翠嵐

カルチャーナイト後、予選ラウンド3が行われました。ロシアに対する経済制裁という難しい論題にも、ニュースや学校の授業を通して得た知識を用いて、説得力のあるスピーチを行いました。



東桜学館 VS タイ 1

城南 VS フィリピン 1



ルーマニア 1 VS 横浜翠嵐



大会 1 日目集合写真

## 2日目（予選、準決勝、決勝、キーノートスピーチ、閉会式）

1日目に引き続き、予選ラウンド4から2日目はスタートします。論題は「SDGsよりもむしろ脱成長を目指すべきである。」でした。SDGsと脱成長という世界的にも関心の高い問題となっているテーマに対しても、生徒たちはしっかりと理由や具体例を交えながら、意見を述べました。



モロッコ VS 東桜学館

ルーマニア1 VS タイ1

2日目の予選終了後も、休憩を兼ねてレクリエーションが行われました。今回は生徒に加えて、教員の交流会も開かれました。それぞれの国の教育事情や英語のみならず、社会科といった様々な科目の教員が参加し、ディベートの裾野の広がりを感じるものとなりました。

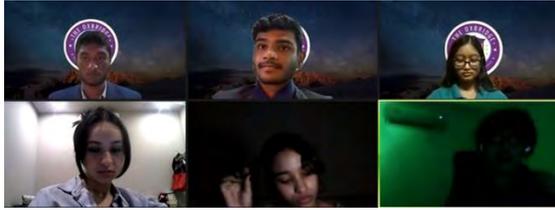


そして、休憩をはさみ、緊張のブレイクアナウンスメント（予選の結果発表）が行われ（結果は下記）、準決勝が始まりました。準決勝の論題は、「全ての大学は、オンラインのみで卒業できる選択枝を与えるべきである。」でした。準決勝と同時に、1日目に参加がかなわなかったトリニダード・トバゴの2チームも参加し、それぞれ5位と6位のチームと交流ディベートが開催されました。



栄光学園 VS 聖光学院

フィリピン1 VS ベトナム



トリニダード・トバゴ VS コロンビア



フィリピン2 VS トリニダード・トバゴ

予選結果

Place	Team Name	Win	Sum	Institution
1st	Philippines 1	4	155	Caraga Regional Science High School (CRSHS)
2nd	Seiko (Japan)	3	175	Seiko Gakuin High School
3rd	Eiko (Japan)	3	158	Eiko Gakuen High School
4th	Vietnam	3	151	Newton Grammar School
5th	COLOMBIA	3	140	American School
6th	Philippines 2	2	154	Timber City Academy
7th	Jamaica	2	150	Ardenne High School
8th	Romania 1	2	149	CN Al Papiu Ilarian
9th	Touoh (Japan)	2	148	Touohgakkan Senior High School
10th	Jonan (Japan)	2	147	Fukuoka Prefectural Jonan High School
11th	Uganda 1	2	140	Trinity College Nabbingo
12th	Morocco	1	156	Moroccan National Debate Team
13th	Thailand 1	1	140	Prince of Songkla University Demonstration School (Secondary) Team 1
14th	Suiran (Japan)	1	130	Yokohama-Suiran Senior High School
15th	Yashiro (Japan)	1	129	Yashiro High School
16th	Thailand 2	0	122	Prince of Songkla University Demonstration School (Secondary) Team 2
★	TRINIDAD AND TOBAGO 1	-		THE OXBRIDGE INTERNATIONAL SCHOOL
★	TRINIDAD AND TOBAGO 2	-		THE OXBRIDGE INTERNATIONAL SCHOOL
-	Costa Rica	-		Colegio Cientifico de Alajuela
-	Mexico	-		Cumbres Internations School Mexico
-	Brazil	-		Colégio Harmonia
-	Malaysia	-		Chung Ling High School
-	Romania 2	-		Colegiul National Andrei Saguna Brasov
-	Uganda 2	-		Seeta High School

白熱の準決勝が終了し、その結果フィリピン1（予選1位）と聖光（予選2位）が決勝に進出しました。そして、決勝の論題「STEMに関わる大学は、学力よりもダイバーシティで学生を選ぶべきである。」に関連し、Lesley Shannon 教授によるキーノートスピーチが行われました。STEM教育におけるダイバーシティの必要性や理系の学問分野における女性の不足について、専門的な知識を交えながらお話しされ、生徒が真剣に耳を傾ける様子が見られました。



決勝では、ファイナリストらしい、素晴らしいディベートが繰り広げられました。結果は、PDA 認定教育ジャッジを含む 12 人のジャッジのうち 9 人が聖光学院に投票し、優勝となりました。



閉会式では、表彰が行われ、代表チームや生徒に対して Zoom のチャットで多くの賛辞が送られました。また、3年連続で海外から参加している生徒が高校生として最後大会でのコメントを残す一幕もあり、各国での PDAWC の浸透が感じられました。また、チーフジャッジを務めた綾部先生から、生徒のディベート技能の発展へとつながる講評を頂きました。最後に、PDA 代表理事中川から総括があり、この大会参加への感謝と今後のエールが送られました。

今年度も新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となりましたが、大盛況のうちに世界交流大会は幕を閉じました。大会に参加された世界の高校生、引率の先生、キーノートスピーカーの皆様、この世界交流大会を助成、後援、応援くださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

## 第8回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会〔結果〕

### チーム賞

優勝： 聖光学院高等学校

準優勝： フィリピン 1

準決勝出場チーム： 栄光学園高等学校、ベトナム

### 個人賞

#### ベストディベーター賞

・ 3 times

\_\_\_\_\_さん(ルーマニア 1)

\_\_\_\_\_さん(タイ 1)

\_\_\_\_\_さん(聖光)

\_\_\_\_\_さん(城南)

・ 2 times

\_\_\_\_\_さん(フィリピン 1)

\_\_\_\_\_さん(フィリピン 2)

\_\_\_\_\_さん(ウガンダ 1)

\_\_\_\_\_さん(ジャマイカ)

\_\_\_\_\_さん(栄光)

\_\_\_\_\_さん(栄光)

\_\_\_\_\_さん(東桜)



## POI 賞

・ 4 times

\_\_\_\_\_ さん(フィリピン 1)

\_\_\_\_\_ さん(コロンビア)

・ 2 times

\_\_\_\_\_ さん(ルーマニア 1)

\_\_\_\_\_ さん(タイ 1)

\_\_\_\_\_ さん(フィリピン 2)

\_\_\_\_\_ さん(フィリピン 2)

\_\_\_\_\_ さん(ベトナム)

\_\_\_\_\_ さん(東桜)

\_\_\_\_\_ さん(城南)



## 文化賞

フィリピン 1

フィリピン 2

タイ

山形県立東桜学館高等学校

## 第8回 PDA 高校生パラメンタリーディベート世界交流大会〔感想〕

### 世界交流大会の感想（抜粋）

#### （生徒）

- ラウンドと審査員が素敵でした。（ウガンダ）
- PDAWC はみんなにとって素晴らしいイベントです。来年は大学生になるので参加できないのが残念です。（フィリピン 2）
- PDAWC は、とても楽しくて勉強になると思いました。他の国の人たちと交流するのは本当に楽しかったです。（日本）
- 全体的にエネルギーで楽しい雰囲気、運営+各国の人の交流がとてもよかったですと思います。（ルーマニア 1）
- ディベートのモーション（論題）が楽しかった。（日本）
- とても楽しかったので、またやりたいと思う。（コロンビア）
- ブレイクアウトルームでは、他の国の学生と話すことができたのでよかったです。（フィリピン 1）
- 文化的なコンセプトとディベートの組み合わせは素晴らしいと思いました。（ルーマニア 1）
- 英語力を向上させるために、多くの刺激を受けることができました。（タイ）
- 各ラウンドのディベートが楽しかった。もう一つは、ディベートの後に他の人と話すのが本当に楽しかった、みんなフレンドリーでいい人たちばかりだった。（タイ）

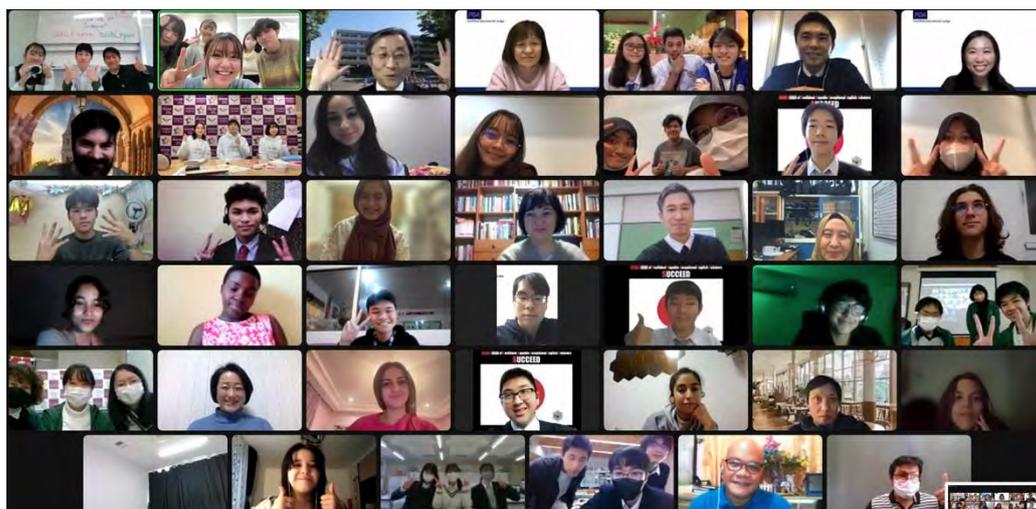
#### （教員）

- 生徒にとっては、英語力を高め、さまざまなバックグラウンドを持つ仲間と交流しながら、批判的思考を磨く良い機会となっています。教師としても、ジャッジのコメントやディベーターから学ぶことが多く、とても有意義なイベントでした。これは素晴らしいオンラインイベントです。非常によく企画されていると思いました。（タイ）
- すべてが完璧で、よくまとまっている。（タイ）
- 私たちを受け入れていただき、本当にありがとうございました。学生にとって、異なる文化や考え方に適応するための素晴らしい機会となりました。（ルーマニア 1）
- これは素晴らしい経験となりました。とても素晴らしい経験となりました。（フィリピン 1）

#### （キーノートスピーチ）

- 事例が多いので想像しやすかったです。（日本）
- キーノートレクチャーで、STEM 分野の学生として非常に興味のある、STEM 分野の多様性の問題を取り上げていたのがよかったです。（フィリピン 1）

- とても勉強になりました。(フィリピン1)
- 正直、この大会で一番好きなパートの1つでした。とても面白かったです。(モロッコ)
- レスリー博士のキーノートスピーチを受けられたことは、ありがたい光栄でした。私を含め多くの学生が、世界で工学がどのように進歩しているかを知り、驚愕したと思います。(日本)
- 本当に良いキーノートスピーチでした。本当に有益な時間となりました。(タイ)



**第6回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会**  
**The 6th PDA Junior High School Parliamentary Debate National Competition**

一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2023年3月19日(日)

会場：Zoom (オンライン)

主催：一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

共催：大阪公立大学

後援：朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人 日本英語交流連盟、  
JSPS San Francisco Office

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

協賛：TOEFL Primary・Junior 株式会社 ダンケゼア

**【開催趣旨】**

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。

本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の高校生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。

( 参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/> )

**【参加校】**

- (山形県) 山形県立東桜学館中学校
- (茨城県) 茨城県立太田一高附属中学校
- (茨城県) 茨城県立勝田中等教育学校
- (栃木県) 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校
- (埼玉県) 開智中学高等学校
- (千葉県) 翔凜中学校
- (千葉県) 東邦大学付属東邦中学校
- (東京都) 筑波大学附属駒場中学校
- (東京都) 筑波大学附属中学校
- (東京都) 東京都立大泉高等学校附属中学校
- (東京都) 東京都立富士高等学校附属中学校

(東京都) 東京都立三鷹中等教育学校  
(東京都) 東京都立武蔵高等学校附属中学校  
(東京都) 品川女子学院中等部  
(東京都) 白百合学園中学高等学校  
(東京都) 東洋英和女学院中学部  
(東京都) 獨協中学高等学校  
(東京都) 武蔵高等学校中学校  
(神奈川県) 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校  
(神奈川県) 浅野中学校  
(神奈川県) 栄光学園中学校  
(神奈川県) 湘南白百合学園中学・高等学校  
(神奈川県) 聖光学院中学校高等学校  
(神奈川県) 洗足学園中学高等学校  
(愛知県) 愛知真和学園 大成中学校  
(愛知県) 東海中学校  
(愛知県) 南山中学校女子部  
(兵庫県) 神戸大学附属中等教育学校  
(岡山県) 岡山県立岡山大安寺中等教育学校  
(広島県) 広島学院中学校・高等学校  
(徳島県) 徳島県立城ノ内中等教育学校  
(熊本県) 熊本県立八代中学校  
(宮崎県) 宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校

全 33 校

【タイムスケジュール】

09:40 受付  
10:00 開会式  
10:20 ラウンド 1  
11:20 昼食交流会(11:30~12:00)  
12:10 ラウンド 2  
13:20 ラウンド 3  
14:30 決勝進出チーム発表、決勝準備  
14:35 キーノートレクチャー  
14:50 決勝  
15:20 表彰式、アンケート  
15:40 終了

## 【ご挨拶】

第6回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会へのご参加ありがとうございます。

毎年参加校数が増えており、中学生が英語を使って即興で議論する取り組みへの関心が高まっていると感じます。

高等学校の新学習指導要領では、2022年度から英語科の新科目「論理・表現」が掲げられ、活動としてディベートが明記されています。本大会で取り扱うディベートは、授業の50分で完結する形式であり、中学生にとって近い将来役立つ内容です。英語で発信する力のほか、さまざまな論題について多様な視点から考える力を鍛える一助となることを願っています。キーノートレクチャーもお楽しみください。

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事

中川智皓（大阪公立大学工学研究科・准教授）

カリフォルニア大学バークレー校 客員研究員

JST さきがけ研究員

理化学研究所 客員研究員

寝屋川市教育委員

## 【論題】

R1 Japan should ban pet sales.

（日本はペットの売買を禁止すべきである。）

R2 Spending weekends with friends is better than with family.

（週末は、家族よりも友達と過ごす方がよい。）

R3 Japan should prioritize child raising support over defense spending.

（防衛費よりも子育て支援に力を入れるべきである。）

決勝 Brain Machine Interface (BMI), which allows people to interact just by thinking by implanting electrodes in the brain, will do more good than harm.

（脳内に電極を埋め込むことで考えるだけで対話ができるようになるブレイン・マシン・インタフェース（BMI）は、害よりも利益をもたらす。）

## 【キーノートスピーカー】

東京工業大学 科学技術創成研究院 准教授

吉村 奈津江先生

## 【開会式】

新型コロナウイルスが収束しつつありますが、第6回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会も、前大会に引き続き遠隔（オンライン）で実施することとなりました。開会式では、はじめに、中川代表理事より開会の挨拶として本大会の趣旨についてお話がありました。本大会で扱うディベートは実際の授業時間内（50分）で完結する形式であり、中学生にとって役立つものであります。また、PDAでのディベート推進活動の紹介がありました。PDAでは、コロナ以前から6年ほどかけて、各地域でのディベート交流大会、認定教育ジャッジ制度の確立などに取り組んでいます。つづいて、本大会参加の33校が紹介されました。各校で様々な特色ある挨拶を交わし盛り上がりました。POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）を全員で練習した時、メインルームには参加者たちの大きな「POI!」のかけ声がひびきわたり、生徒たちに笑顔も見られました。その後、PDAスタッフよりジャッジへ向けてスコア送信についての注意事項、説明がありました。



POIの練習

## 【ラウンド1】

開会式が終わり、1ラウンド目のはじまりです。論題が発表されると、生徒たちは緊張した面持ちでアナウンスに耳を澄まし必死にメモを取っていました。対戦表と論題の発表後、各チームがチームメイトと準備を開始しました。論題は、*Japan should ban pet sales.*（日本はペットの売買を禁止すべきである。）です。1戦目から難易度の高いディベートとなりました。テーブルごとに、動物の権利保護や動物の殺処分数、命の売買等、様々な論点が出され、白熱した議論が行われていました。ディベートが終わるとジャッジから各生徒にフィードバックが行われました。



堂々とスピーチ (神大附属 VS 翔凜)



POI! (太田 VS 聖光)



ディベート後の交流



ジャッジによるフィードバック (武蔵 VS 湘南白百合)

### 【昼食交流会】

昼食タイムです。オンライン開催ということもあり画面越しではありましたが、交流しながら昼食をとりました。ブレイクアウトルームでは、ラウンド1でディベートした内容を話したり、お互いの住む地域の話、部活動の話などで盛り上がりました。



### 【ラウンド2】

ラウンド2の論題は *Spending weekends with friends is better than with family.* (週末は、家族よりも友達と過ごす方がよい。)です。1ラウンド目でジャッジにもらったアドバイスなどを参考にしながら、さらにレベルの高いディベートが行われました。家族と過ごす重要性と友達と週末を過ごす大切さに関して議論沸騰する様子が見られました。



アイコンタクト (翔凜 VS 東桜学館)



ジェスチャーを活かしたスピーチ (開智 VS 宮西附属)



ディベートの様子



ディベート後の交流



ディベート後の交流



ディベート（神大附属 VS 広島学院）



ディベート後の交流（東洋英和 VS 武蔵）

### 【ラウンド3】

3 ラウンド目の議題は、*Japan should prioritize child raising support over defense spending.* (防衛費よりも子育て支援に力を入れるべきである。)でした。Government (肯定側) からは、人口が減ってしまうことは国の根幹を揺るがすというという立場で議論を展開していきました。一方の Opposition (否定側) からは、近隣の国々による脅威が差し迫っているなどの点を挙げて反論を行いました。3 ラウンド目ということもあり、1, 2 ラウンドでの反省やフィードバックを活かした素晴らしいディベートが行われました。このラウンドでは、Swing チームとして、ChatGPT が出場しました！OpenAI が公開した自然な文章を生成する人工知能 (AI) です。PDA では最先端技術を積極的に取り入れていきます。



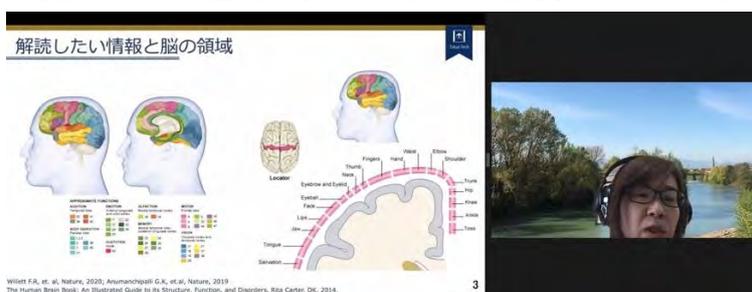
堂々とスピーチ（洗足 VS 東海）



Chat GPT が Swing チームとしてディベートする様子

【キーノートレクチャー】

本大会のキーノートレクチャーでは、東京工業大学科学技術創生研究院准教授、吉村奈津江氏を講師にお迎えし、決勝の論題となったブレイン・マシン・インターフェース (BMI) についてお話していただきました。ブレイン・マシン・インターフェース (BMI) とは人間の脳と機械やコンピューターを直接的につなぐ最先端技術のことを指します。BMI では装置を通して脳波や節電信号などの情報を集めて処理が行われ、読心術のように、人が見ているものや想像したものを復元することも可能です。現在 BMI 技術は未だ研究段階ですが、様々な可能性を秘めています。吉村奈津江氏の SF の世界のような BMI 最先端技術に関するレクチャーは大変興味深く、生徒たちからの質問が絶えませんでした。



吉村先生のキーノートレクチャー



質問の挙手がたくさんあがりました

## 【決勝ラウンド】

いよいよ決勝チームの発表です。予選3ラウンドの結果、決勝戦には浅野中学校、聖光学院中学校高等学校が選出されました。決勝戦の論題は、*Brain Machine Interface (BMI), which allows people to interact just by thinking by implanting electrodes in the brain, will do more good than harm.* (脳内に電極を埋め込むことで考えるだけで対話ができるようになるブレイン・マシン・インタフェース (BMI) は、害よりも利益をもたらす。)でした。両チームとも、多くの生徒や教員が見守る中で、落ち着いた口調で内容の論理性や英語力など中学生とは思えないスピーチを披露してくれました。それだけでなく、積極的に POI も行っており、決勝戦にふさわしいとても白熱したラウンドになりました。

ディベート後、キーノートスピーカーの吉村先生より、ディベート内容へのフィードバックが行われました。ディベートをした生徒は、ディベートを通して出てきた疑問点などを質問し、よりテーマへの理解を深める機会となりました。



決勝戦の様子



決勝ラウンドが終わり笑顔でエアー握手



キーノートスピーカー吉村先生によるフィードバック

## 【表彰式・閉会式】

表彰式では、ベストディベーター賞、ベスト POI 賞、チーム賞が発表され、決勝ラウンドの結果が発表されました。結果を見た生徒たちは喜びをかみしめ、チームメイトお互いに声をかけあう様子も見られました。活躍されたすべての生徒に賛辞を送りたいと思います。

次に、中川代表理事より「議論に勝つための折り合いのつけ方ではなく、人の幸せのための折り合いのつけ方を意識することが重要です。そのためには、研究者、政策立案者、ものづくりをする人、家族、いろいろな人が納得し、みんなが幸せになることができる解を模索することが重要です。これからもがんばってください。」と講評と労いのメッセージが送られました。最後に、優勝した浅野中学校と準優勝した聖光学院中学校の代表生徒が「高校生になってもがんばりたいです。」「楽しくディベートができてよかったです。次は勝てるように頑張りたいです。」と感想を述べ、第6回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会は幕を閉じました。



ベストディベーター賞の表彰



POI 賞の表彰



決勝戦でディベートしたチームの代表生徒による感想

## 第6回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会結果

### <チーム賞>

優勝 浅野中学校(神奈川県)

準優勝 聖光学院中学校高等学校(神奈川県)

3位 神戸大学附属中等教育学校(兵庫県)

4位 東邦大学付属東邦中学校(千葉県)

5位 洗足学園中学高等学校(神奈川県)

6位 東洋英和女学院中学部(東京都)

7位 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校(栃木県)

8位 東海中学校(愛知県)

### <個人賞>

ベストディベーター賞 (個人名略)

ベスト POI 賞 (個人名略)

## 【アンケート（抜粋）】

### 1. 生徒からの感想

- チームメイトと協力したり、中々ない全国の中学生との交流ができて、とても楽しかったです！（東邦）
- とてもいいディベート経験になりましたし、他校の生徒と話せる機会というのも少ないので楽しかったです（聖光）
- 自分の実力をはかることができ、今後どうしていきべきなのかという目標も見つけられてすごくためになった。（大成）
- 高いレベルのディベーターの方々と議論できて楽しかったです。また、ジャッジの方からのアドバイスをこれからは活かしていきたいと思います。（宮崎西）
- ほんとにレベルが高く、英語はもちろんだけど発想力は即興で返せる能力も必要だと思った。今大会の結果が非常に悔しかったので来年絶対リベンジする。（勝田）
- みなさんの英語力がたかくてすごく驚いたのと、もっとたくさん話せるように頑張りたいなと思いました。（品川女子学院）
- 今回のディベデートを通して、学校で練習しているのとは全く違う、他校の生徒の英語力のすごさを実感しました。意見を言う時にしっかり論理性があったし、単語の幅が多くて自分ももっと勉強したいと思います。（三鷹）
- 勝敗に関わらずすごく有意義な時間になりました。短いスピーチ時間でいかに必要な内容を詰め込むかが課題になりました。最後のラウンドは本当に素晴らしくて感動しました。目標にしたいです！（南山女子部）
- 全国の様々な学校、学年の方と交流しながらディベートを楽しむという貴重な体験ができ、とても楽しめた。日頃の練習の成果や成長が実感できて、自身や今後のやる気につながった。ジャッジの方が改善点を優しく教えてくださるだけでなく、しっかり褒めても下さるのが嬉しかった。（岡山大安寺）

### 2. 教員・見学者からの感想

- また次回も生徒を参加させたいです。
- ディベートのテーマも興味深く、他の学校との交流も楽しかったです。
- 毎年、大変素晴らしい大会を開いてくださってありがとうございます。ディベートのみならず視野を広げるレクチャーと本当に教育的な機会が提供されていると思っています。
- PDAのフォーマットに沿ってディベートをジャッジすることができ、良い経験になりました。
- 高校だけではなく中学校との繋がりを意識して参加することでこれからの英語授業のありかたについて考えるきっかけになりました。またジャッジをさせていただくこと

で生徒への効果的なフィードバックとは何かについて考えることがよりできるようになりました。

- 勝ち負け以上に生徒らにとって毎回得るものが大きいので有り難く思います。ありがとうございました。
- レベルが高くチャレンジングでしたが、いい刺激になったと思います。本校の生徒も継続して同じ生徒が参加できるよう、指導を整えていきます。
- The students seemed to have enjoyed themselves and I also enjoyed listening to the speeches !

### 3. キーノートレクチャーについての感想

- BMI はやはり人体にかかわることで、議論を呼ぶような課題で、知らない技術や進んでいる研究現場を少しでも知ることができてよかった。(白百合学園)
- BMI に対して興味を持つきっかけになりました。初めてこの内容に触れましたが、レクチャーの内容とその後のディベートが合わさってより多角的な見方ができ、大変貴重な経験だったと感じます。(東洋英和)
- 今まで触れたことのない分野のことでしたが、これを機に知ることができて良かったです。英語力を伸ばすだけでなく、英語の他にも自分が人の役に立てることを見つけていこうと思いました。(八代)
- とても分かりやすかったです。難しい単語もあつたりしましたが、新しい知識を増やすことができ、とてもいい機会になりました。ありがとうございました。(湘南白百合)
- とても興味深く勉強になり視野が広がりました。こんなに研究が進んでいることに純粋に驚きました。ディベートでこういう話が聞けるのは本当にありがたいです。(武蔵)
- とても興味深い内容でした。BMI について初めて理解することができました。キーノートレクチャーを聞いた後に、決勝ラウンドを見たので、試合の内容が分かりやすかったです。(神大附属)
- 研究の背景まで分かったのが良かったです。理系の知らない分野について知るのを楽ししいと思いました。(教員)
- 大変興味深く聞かせていただきました。ディベートに合う、深掘りできる話題でした。(教員)
- 非常に興味深かったです。非現実的なことが現実のものになる実感をしました。(教員)

以上

(写真)

○山形県立東桜学館中学校



○筑波大学附属中学校



○東京都立大泉高等学校附属中学校



○東京都立三鷹中等教育学校



○愛知真和学園 大成中学校



○熊本県立八代中学校



○宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校

